

## 町田市男女平等参画に関するアンケート調査 速報値

調査内容

調査地域：町田市全域

調査対象者：市内在住の18歳以上80歳未満の男女個人3,000人（女性1,500人、男性1,500人）

抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出

調査期間：2025年8月1日～8月22日

調査方法：郵送配付、郵送回収・WEB回答

回収状況

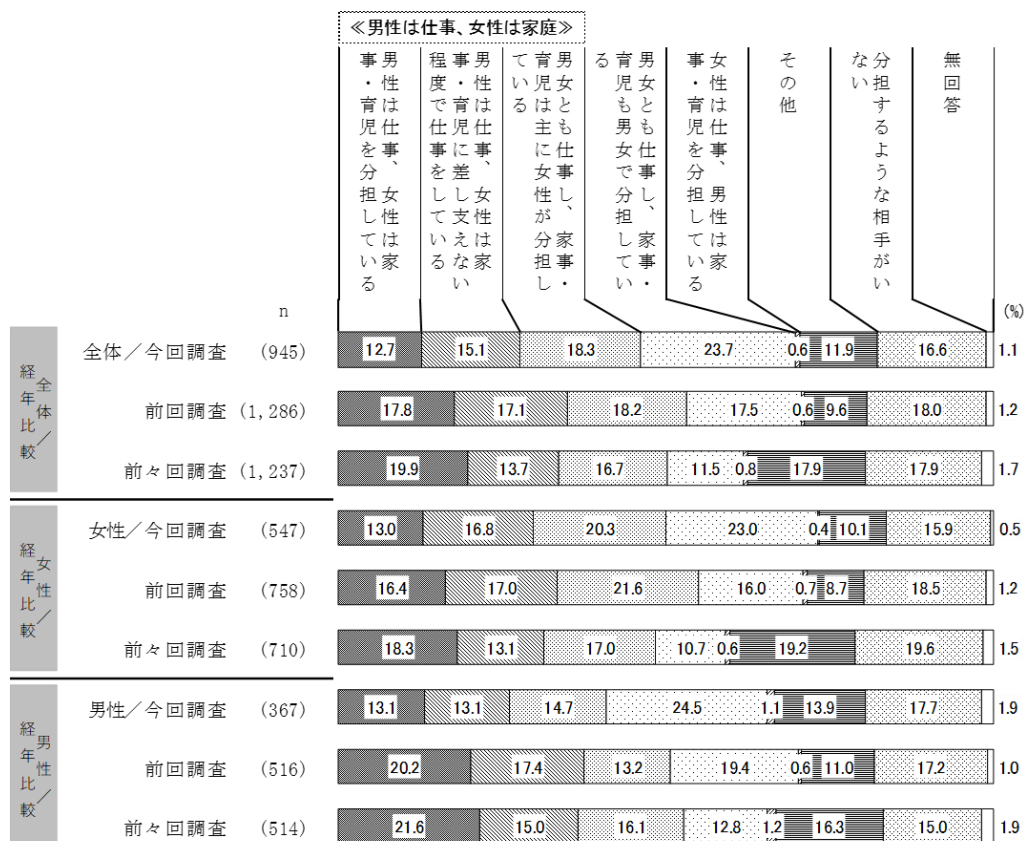
	全体		女性		男性	
	2025年度	2022年度	2025年度	2022年度	2025年度	2022年度
配布数	3,000		1,500		1,500	
有効回収数	945	1286	547	758	367	516
有効回収率	31.5%	42.9%	36.5%	50.5%	24.5%	34.4%

家庭内の役割分担について

問 1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、どう思いますか。  
 肯定派 17.2% (前回より-1.2 ポイント)、否定派 59.9% (前回より+1.5 ポイント)



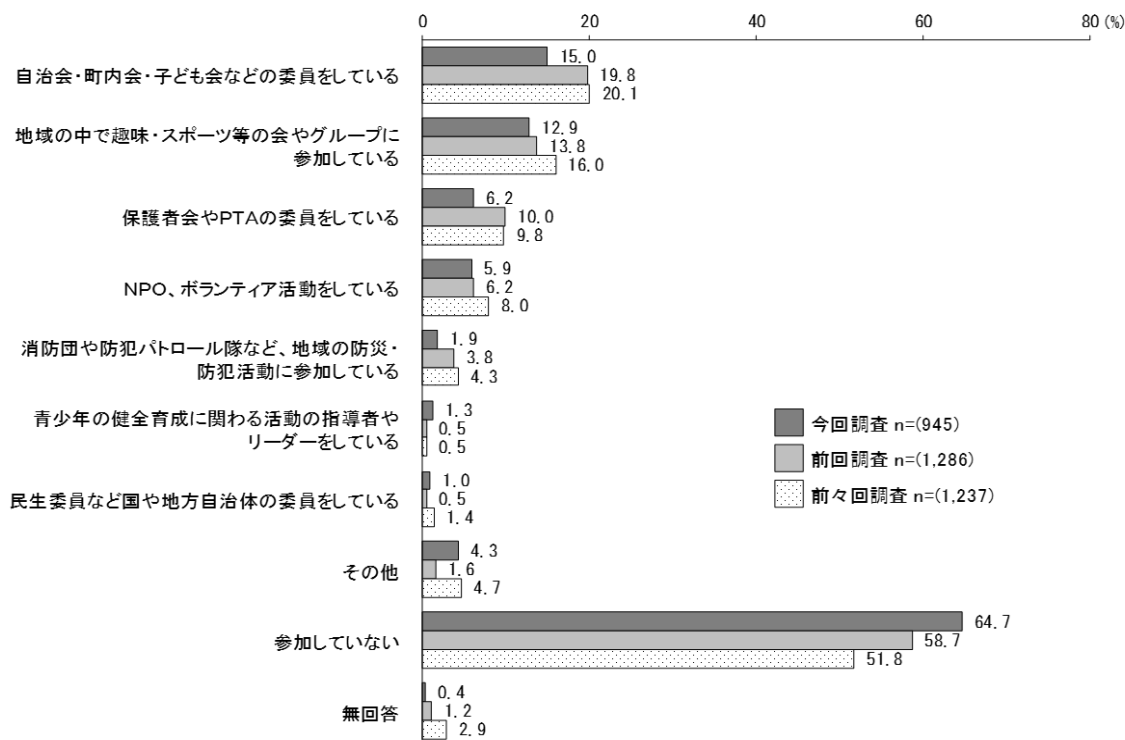
問 2 ご家庭での役割分担はどうなっていますか。最も近いものを1つお選びください。  
 「男性は仕事、女性は家庭」 46.1% (前回より-7 ポイント)



## ワーク・ライフ・バランスについて

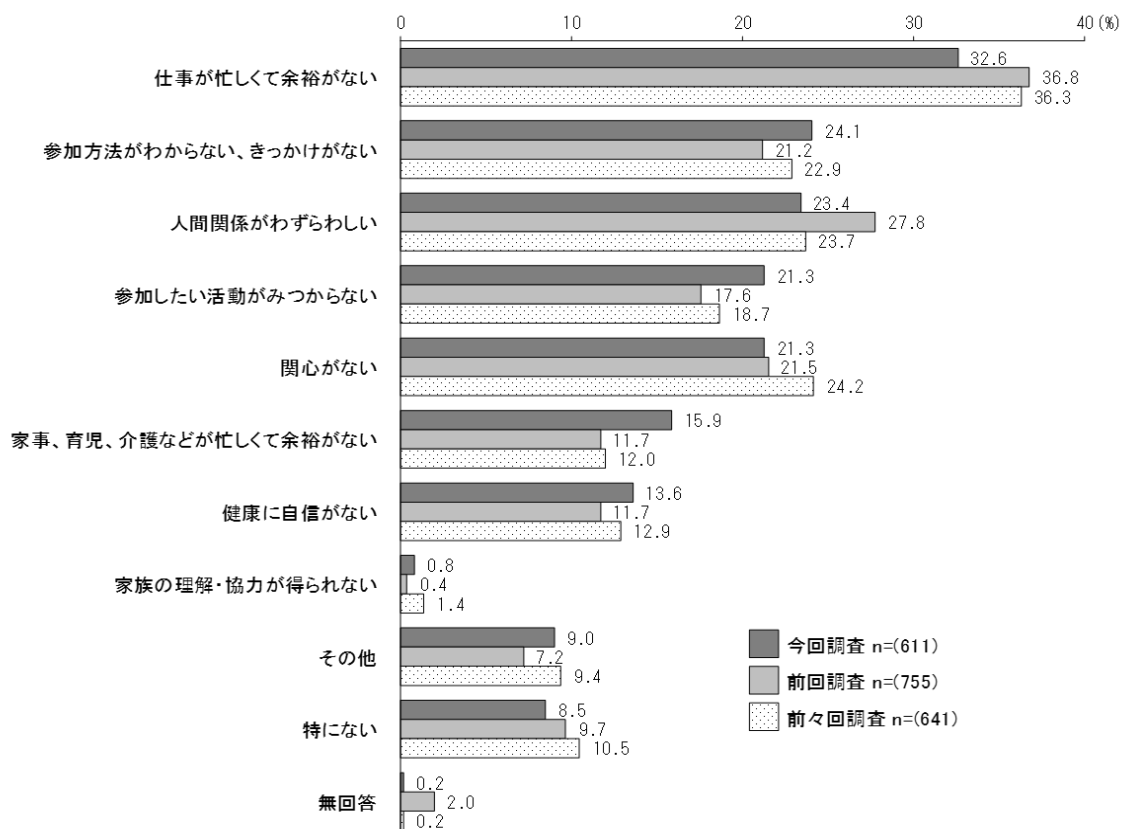
問 3 地域活動や社会活動などに参加していますか。

「自治会・町内会・子ども会などの委員をしている」15%（前回より－4.8ポイント）が最も高く、次いで「地域の中で趣味・スポーツ等の会やグループに参加している」12.9%（前回より－0.9ポイント）



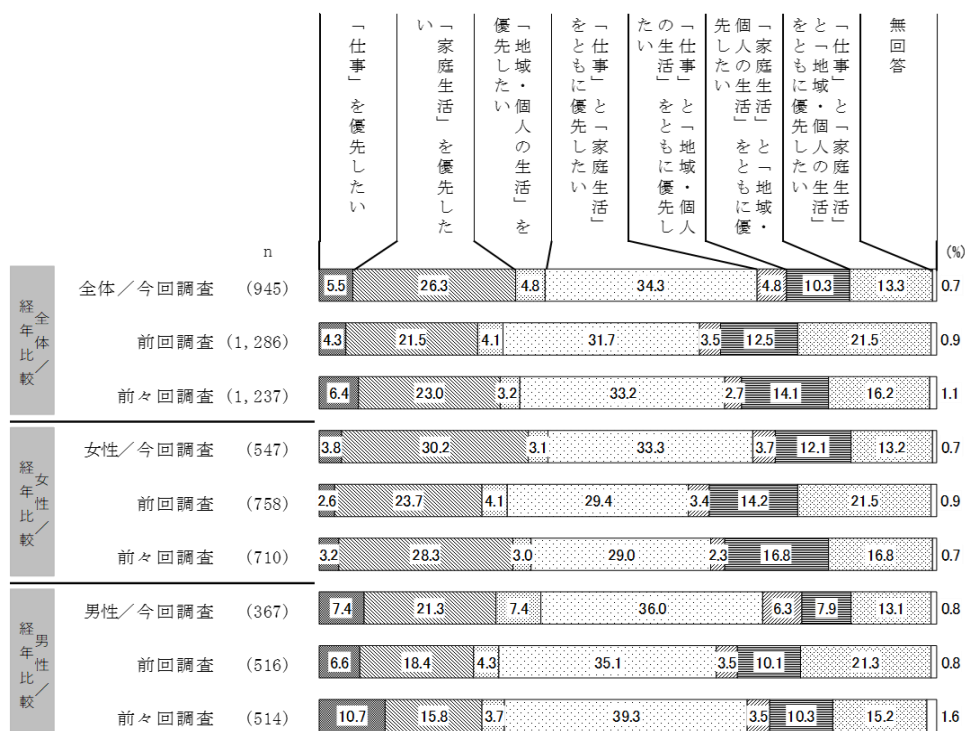
問 3-1 地域活動や社会活動に参加していない理由は何ですか。

「仕事が忙しくて余裕がない」32.6%（前回より－4.2ポイント）が最も高く、次いで「参加方法がわからない、きっかけがない」24.1%（前回より＋2.9ポイント）



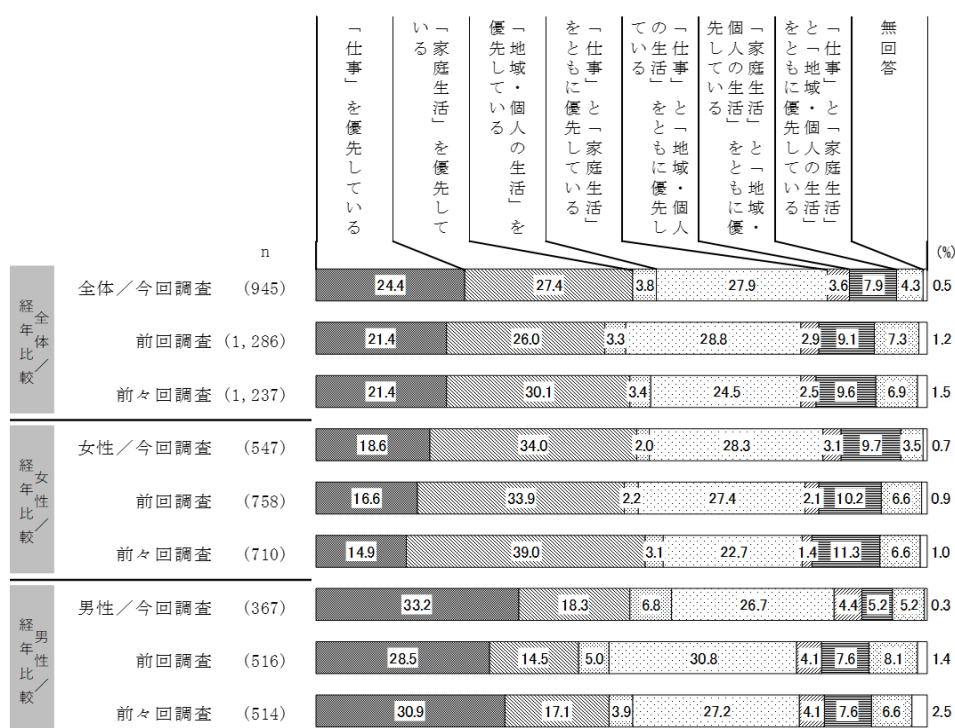
問 4 生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度の希望に最も近いものを1つだけお選びください。

『「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい』34.3%（前回より+2.6ポイント）が最も高く、次いで『「家庭生活」を優先したい』26.3%（前回より+4.8ポイント）



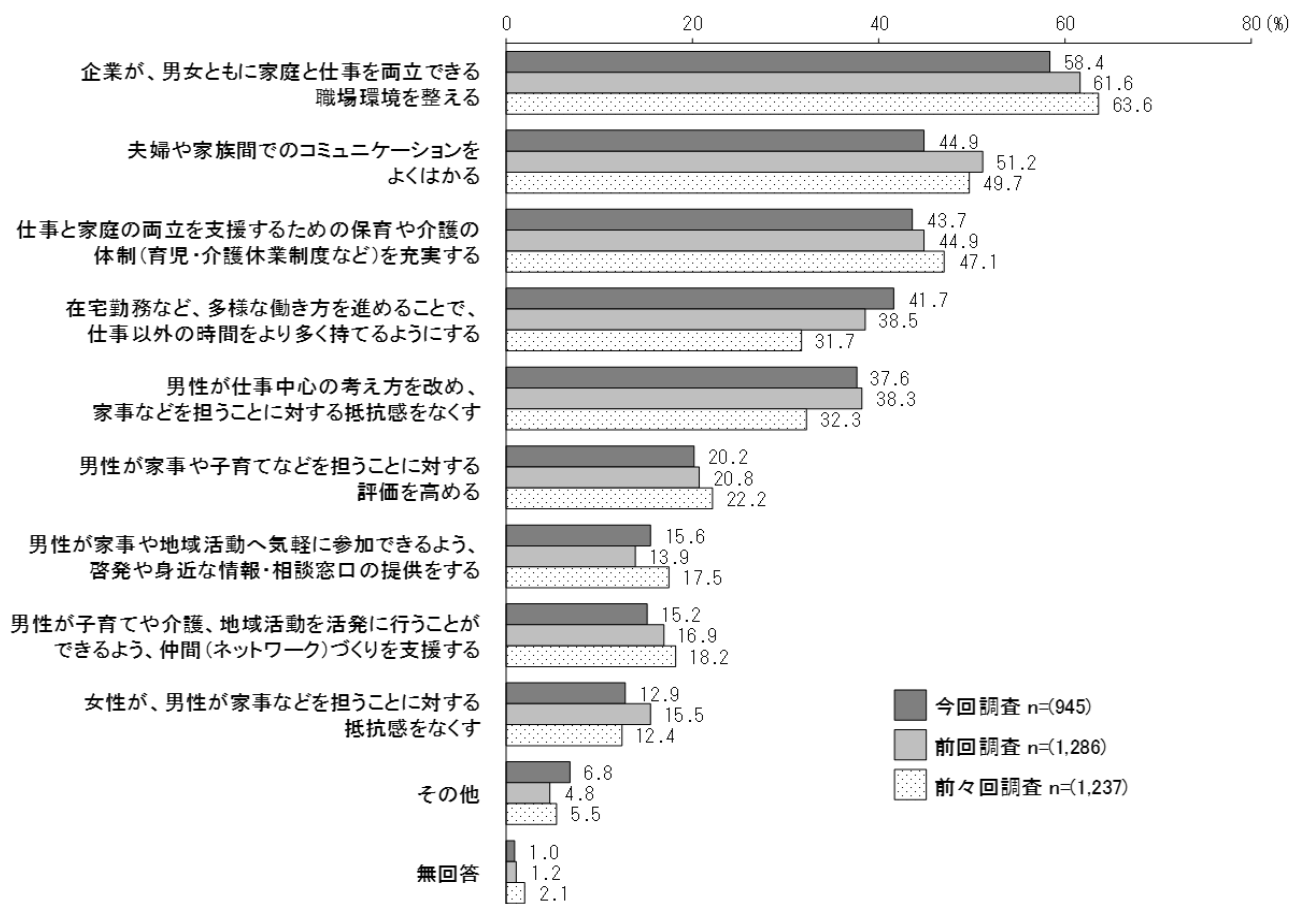
問 5 生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の現実（現状）に最も近いものを1つだけお選びください。

『「仕事」と「家庭生活」をともに優先している』27.9%（前回より-0.9ポイント）が最も高く、次いで『「家庭生活」を優先している』27.4%（前回より+1.4ポイント）



問6 男性と女性とともに家事、子育て、介護、地域活動を積極的に担うためには、どのようなことが必要だと思いますか。

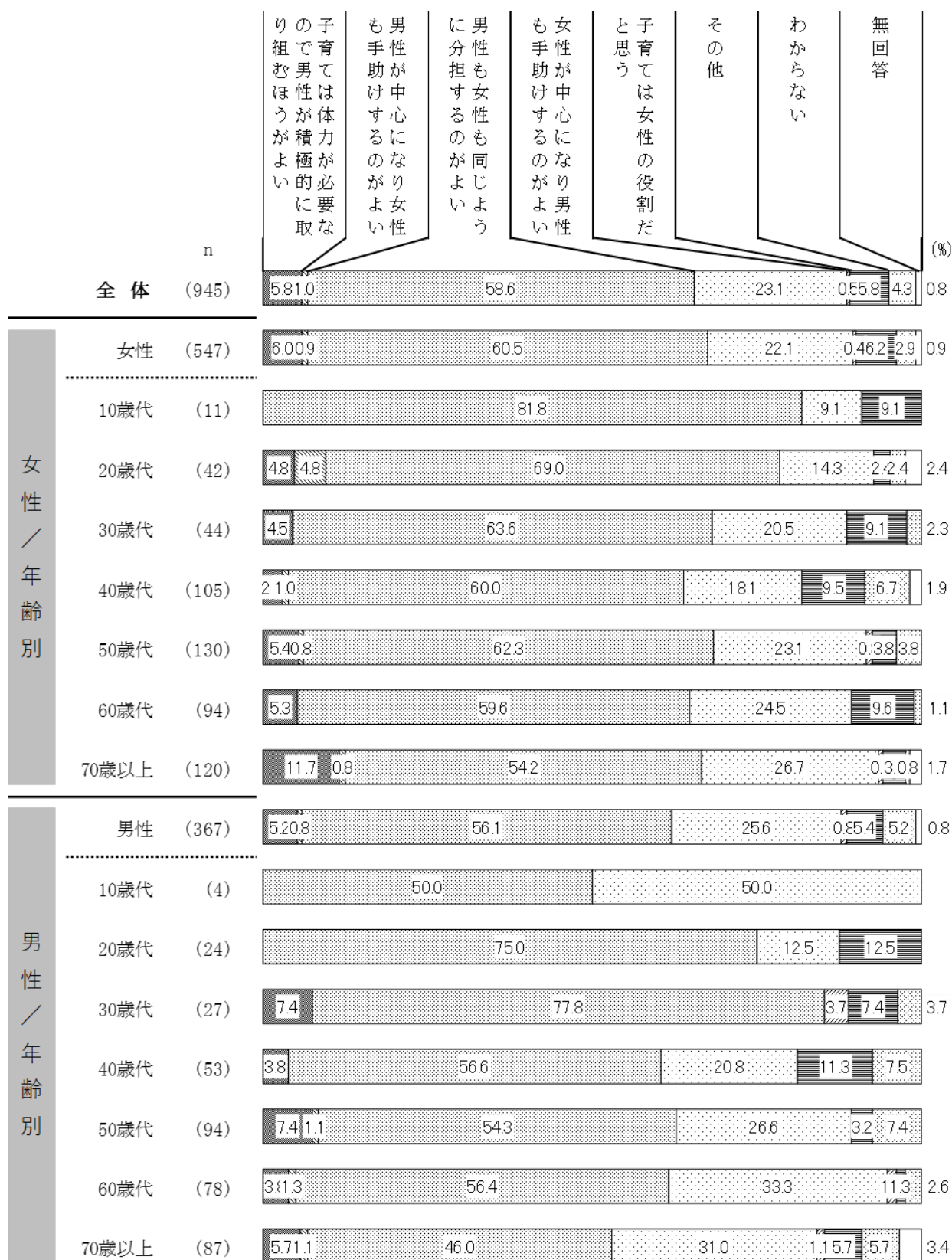
「企業が、男女ともに家庭と仕事を両立できる職場環境を整える」58.4%（-3.2ポイント）が最も高く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」44.9%（前回より-6.3ポイント）



子育て・介護について

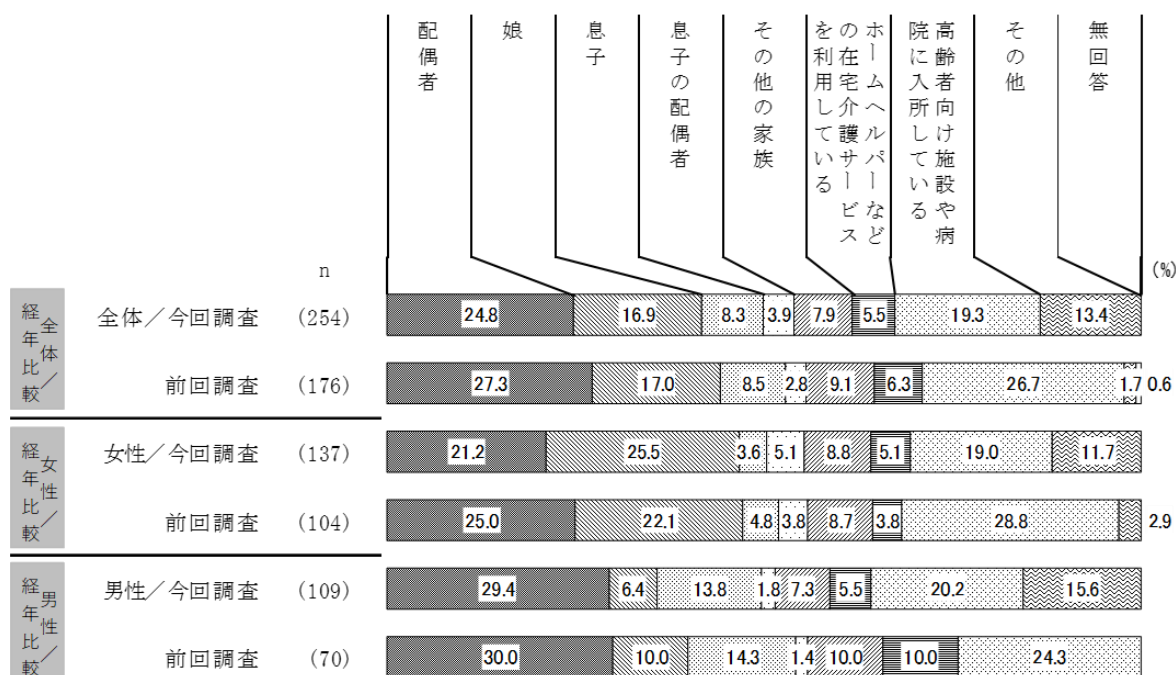
問 7 子育ての役割についてどう思いますか。

「男性も女性も同じように分担するのがよい」58.6%が最も高く、次いで「女性が中心になり男性も手助けするのがよい」23.1%



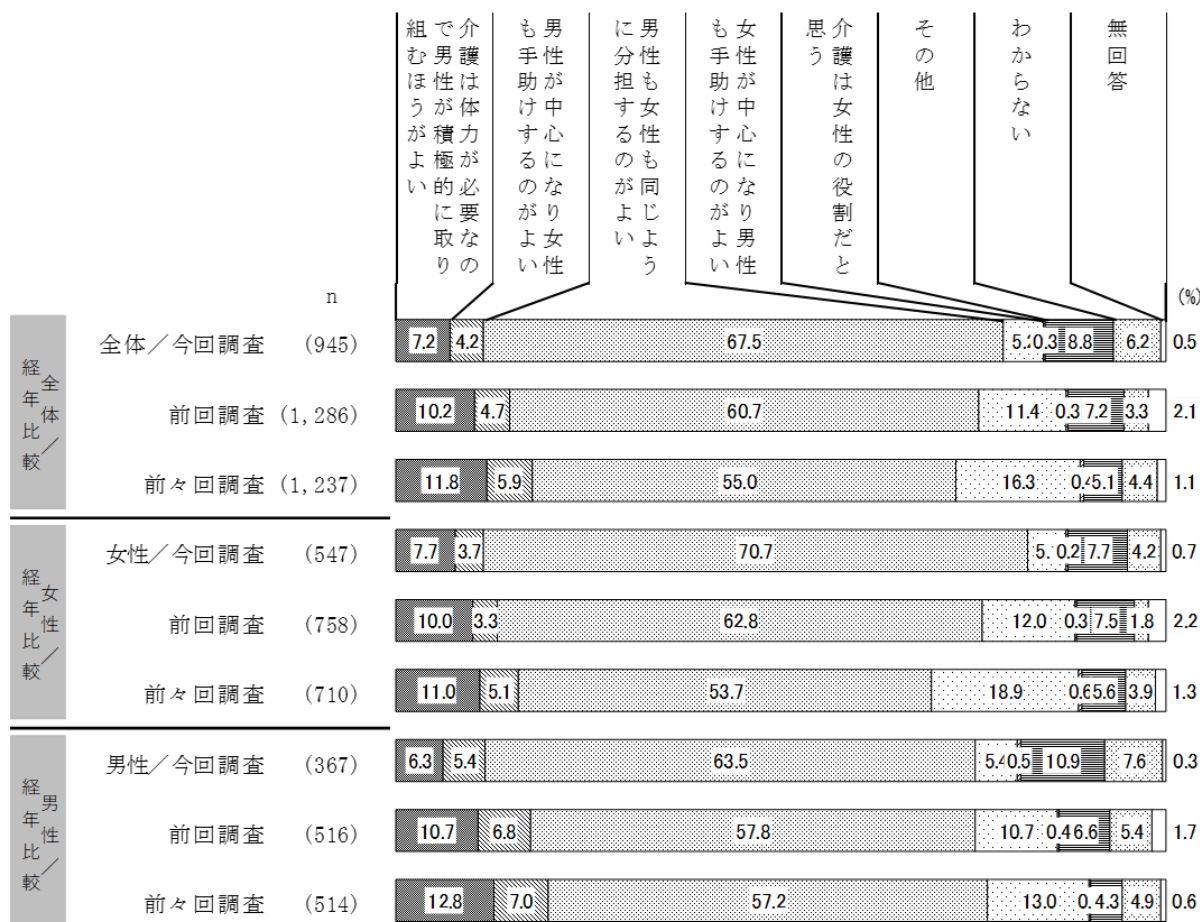
問 8 あなたの家庭では、その方の介護は、主にどなたが行っていますか。

「配偶者」24.8%（前回より-2.5ポイント）が最も高く、次いで「高齢者向け施設や病院に入所している」19.3%（前回より-7.4ポイント）



問 9 家庭での高齢者や病人の介護の役割についてどう思いますか。

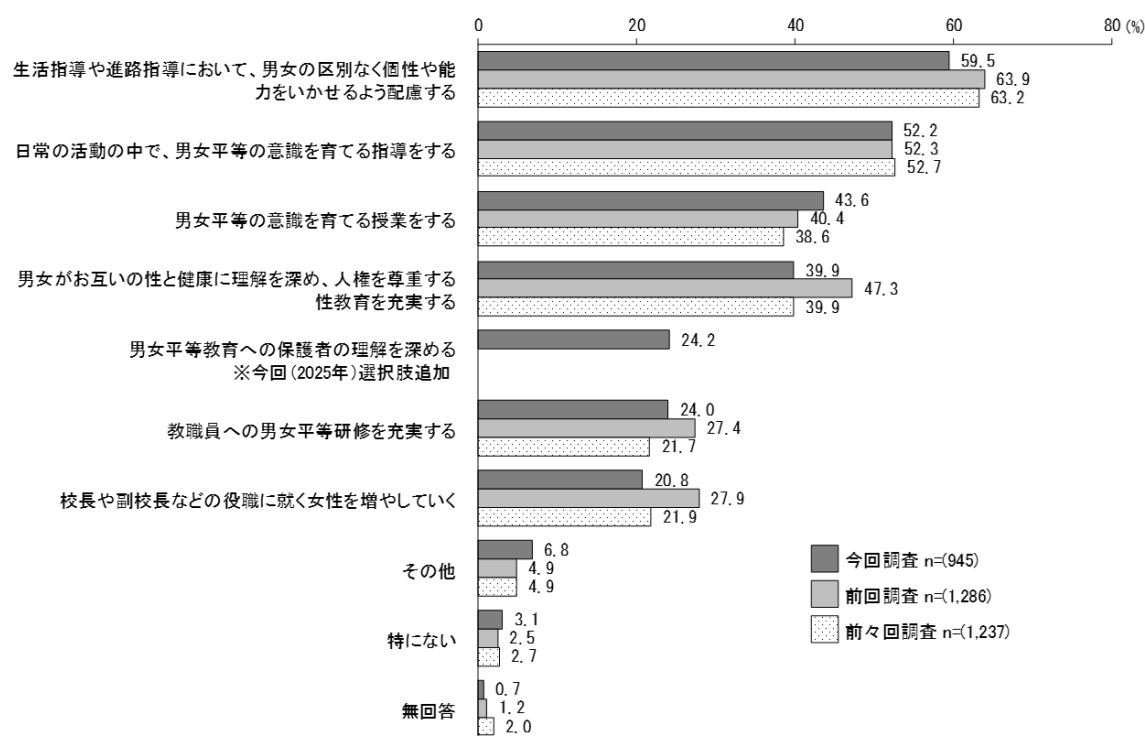
「男性も女性も同じように分担するのがよい」67.5%（前回より+6.8ポイント）が最も高く、次いで「その他」8.8%（前回より+1.6ポイント）



## 教育について

問 10 男女平等を推進していくために、学校教育ではどのようなことに力を入れると良いと思いますか。

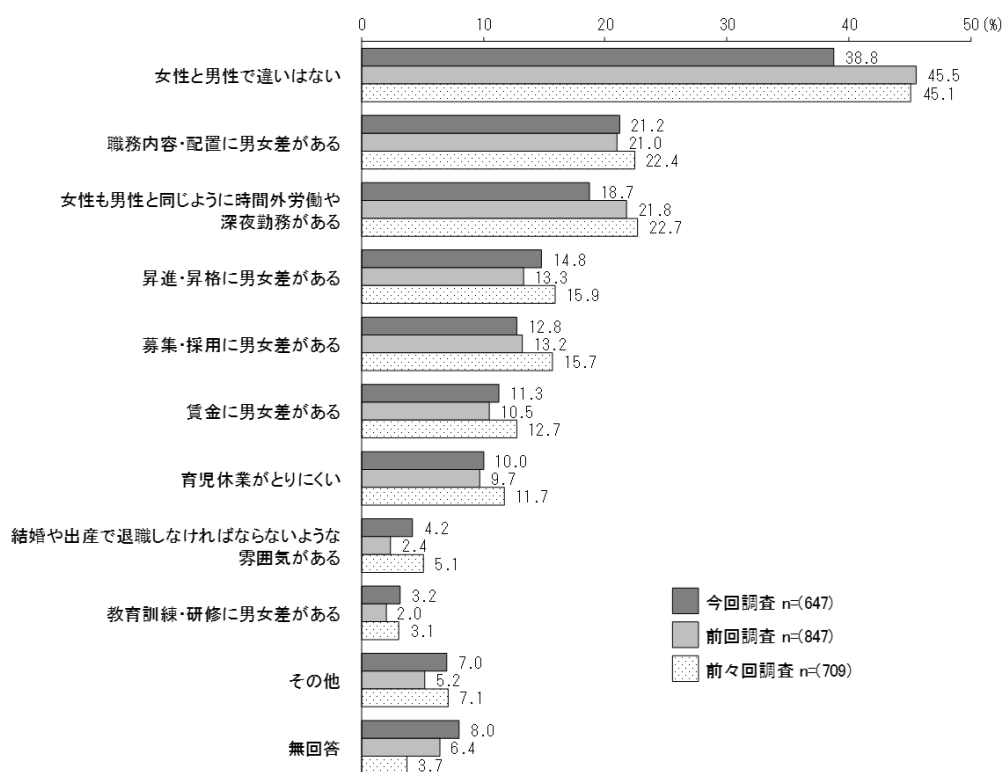
「生活指導や進路指導において、男女の区別なく個性や能力をいかせるよう配慮する」59.5%（前回より－4.4ポイント）が最も高く、次いで「日常の活動の中で、男女平等の意識を育てる指導をする」52.2%（前回より－0.1ポイント）



## 就労について

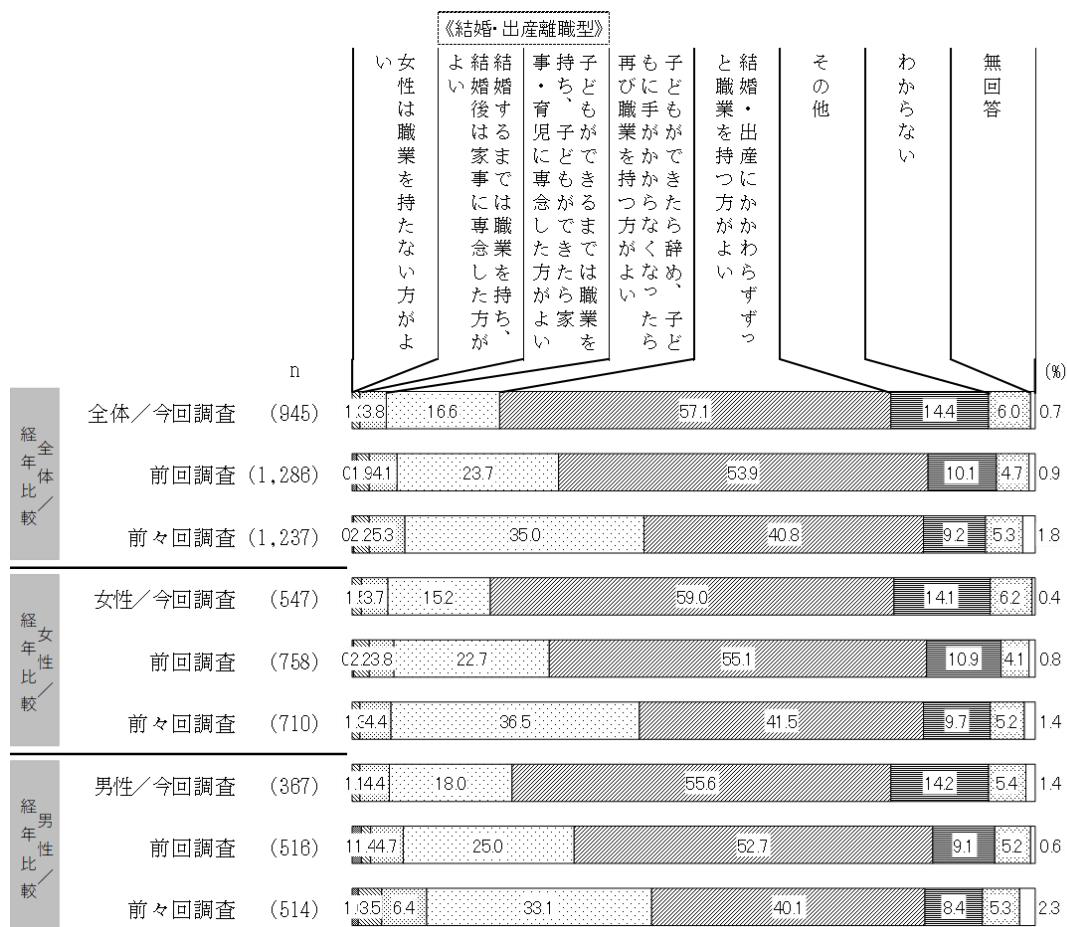
問 11-1 あなたの職場では、次のようなことがあると感じますか。

「女性と男性で違いはない」38.8%（前回より－6.7ポイント）が最も高く、次いで「職務内容・配置に男女差がある」21.2%（前回より＋0.2ポイント）



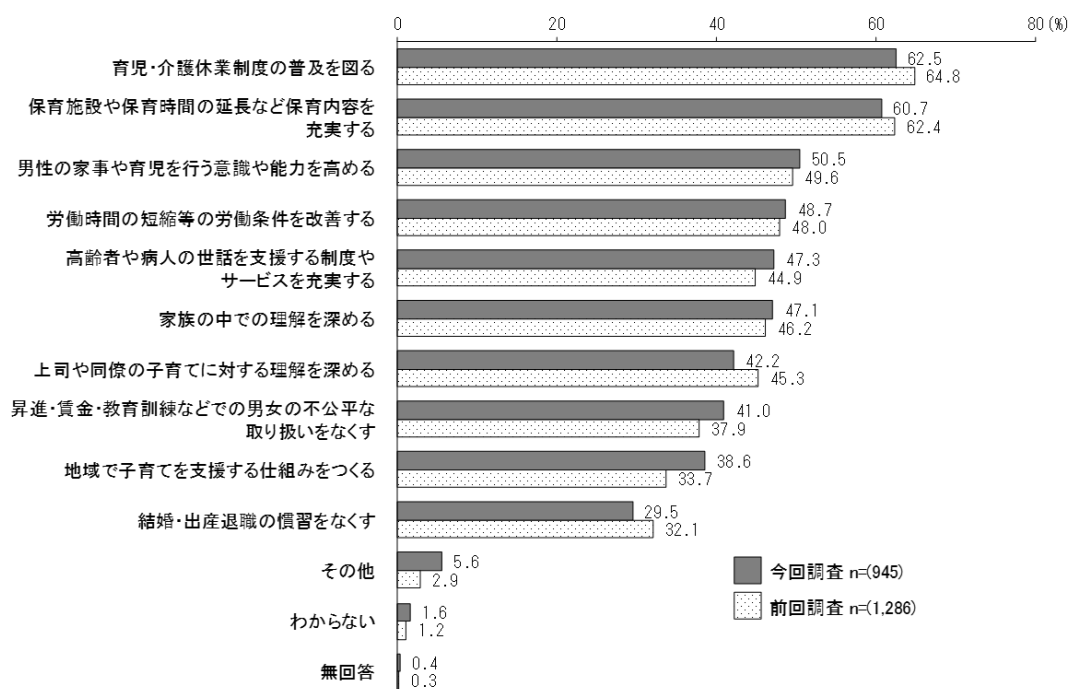
問 12 女性が職業を持つことについてどう思いますか。

「結婚・出産にかかわらずずっと職業を持つ方がよい」57.1%（前回より+3.2ポイント）が最も高く、次いで「子どもができたなら辞め、子どもに手がかからなくなったら再び職業を持つ方がよい」16.6%（前回より-7.1ポイント）



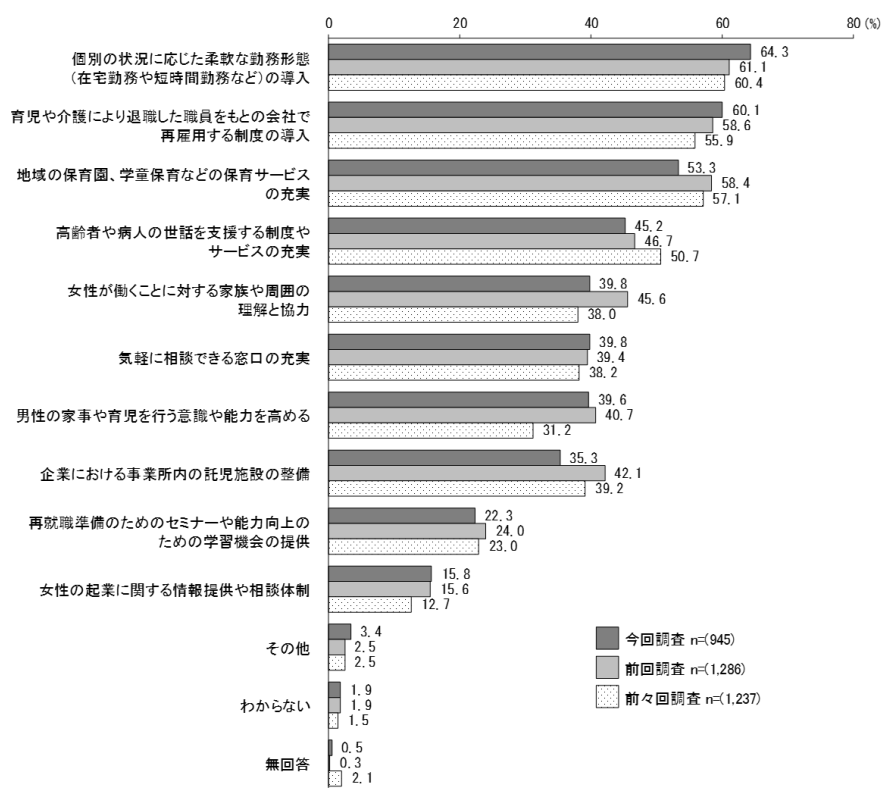
問 13 女性が働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。

「育児・介護休業制度の普及を図る」62.5%（前回より-2.3ポイント）が最も高く、次いで「保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実する」60.7%（-1.7ポイント）



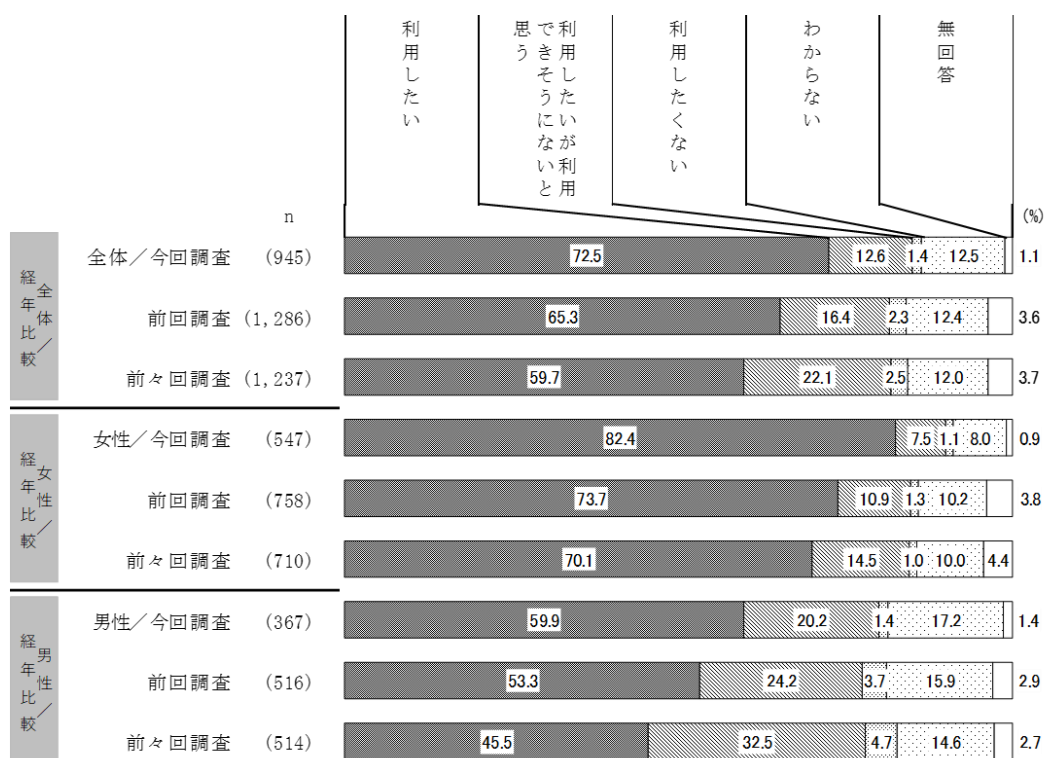
問 14 子育てや介護によりいったん離職した女性が再就職や起業するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

「個別の状況に応じた柔軟な勤務形態（在宅勤務や短時間勤務など）の導入 64.3%（前回より+3.2 ポイント）が最も高く、次いで「育児や介護により退職した職員をもとの会社で再雇用する制度の導入」60.1%（前回より+1.5 ポイント）



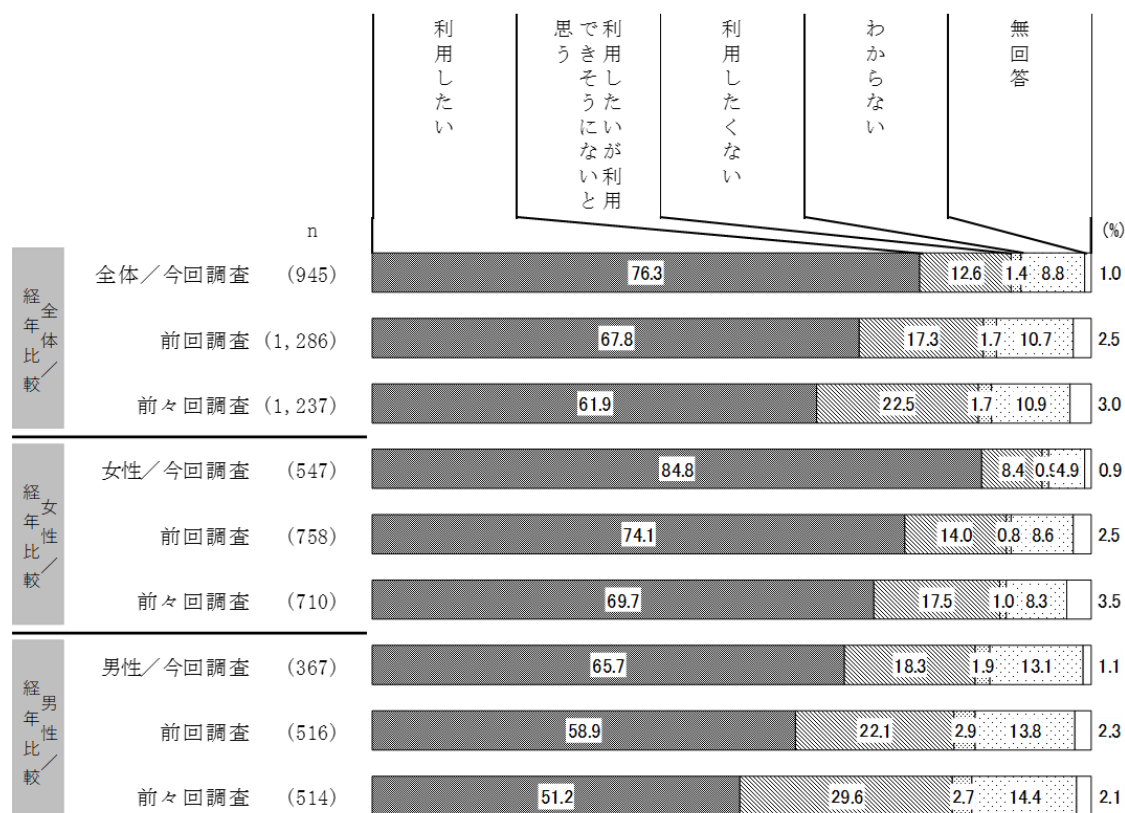
問 15 育児を行うために、自分自身が「育児休業制度」を利用することについてどう思いますか。

「利用したい」72.5%（前回より+7.2 ポイント）が最も高く、次いで「利用したいが利用できそうにないと思う」12.6%（前回より-3.8 ポイント）



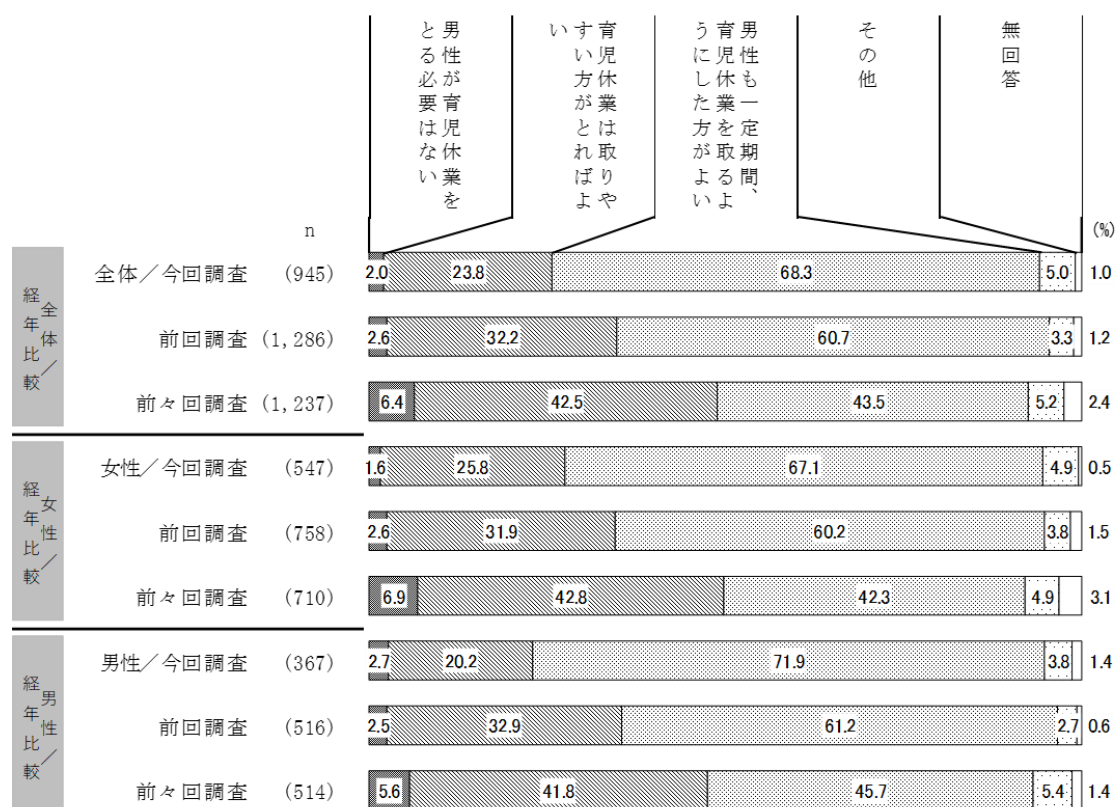
問 16 家族介護を行うために、自分自身が「介護休業制度」を利用することについてどう思いますか。

「利用したい」76.3%（前回より+8.5ポイント）が最も高く、次いで「利用したいが利用できそうにないと思う」12.6%（前回より-4.7ポイント）



問 17 男性が育児休業をとることについて、あなたはどう思いますか。

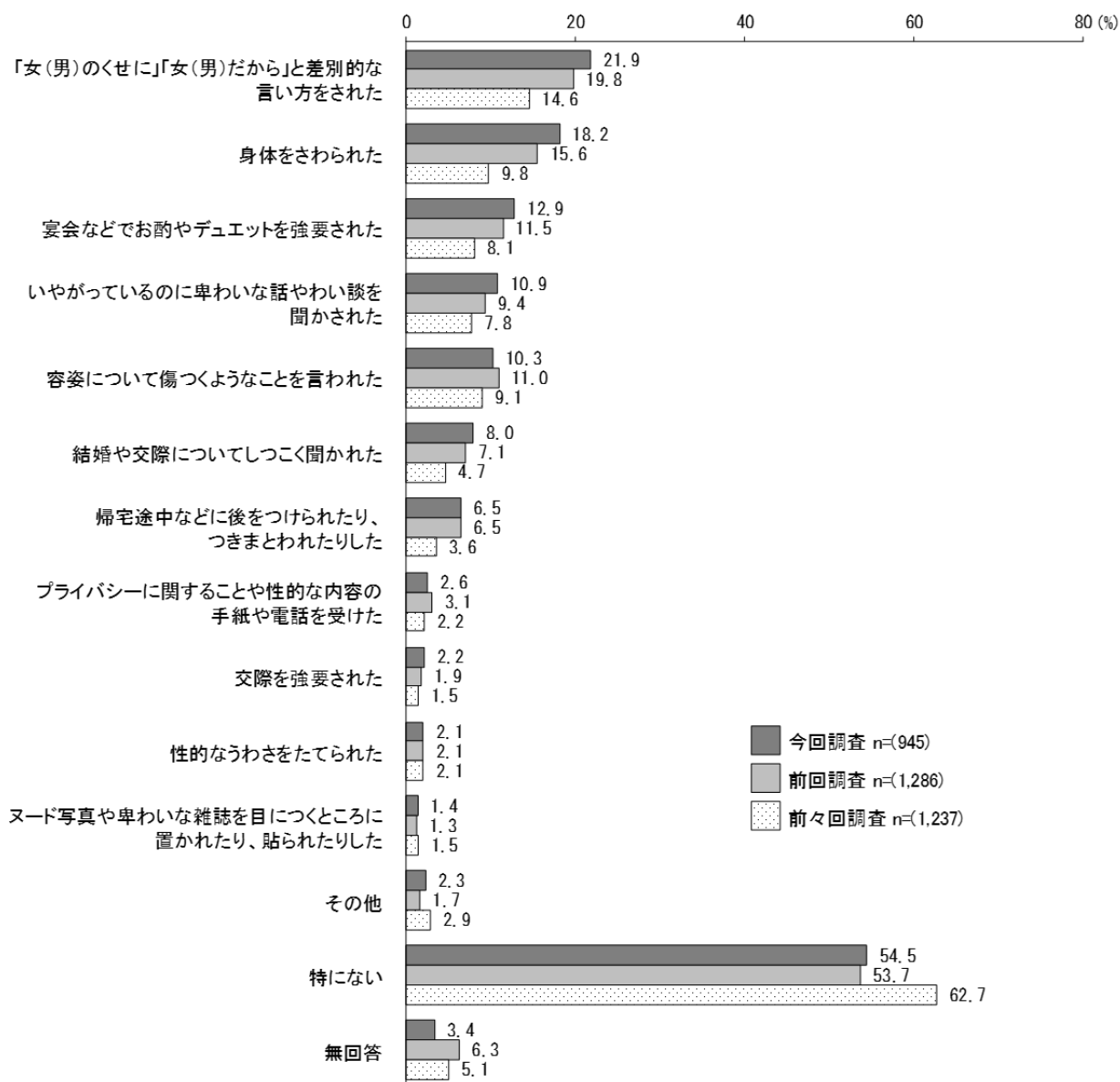
「男性も一定期間、育児休業を取るようにした方がよい」68.3%（前回より+7.6%ポイント）が最も高く、次いで「育児休業は取りやすい方がとればよい」23.8%（前回より-8.4ポイント）



## 人権について

問 18 これまでに次のような「セクシュアル・ハラスメント」を受けた経験がありますか。

『「女（男）のくせに」「女（男）だから」と差別的な言い方をされた』21.9%（前回より+2.1ポイント）が最も高く、次いで「身体をさわられた」18.2%（前回より+2.6ポイント）



問19 次のようなことが配偶者（事実婚や別居、離別を含む）やパートナー・恋人の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。（ア）～（オ）のそれぞれについて、「1」～「3」のうちあなたの考えに近い番号に○をつけてください。

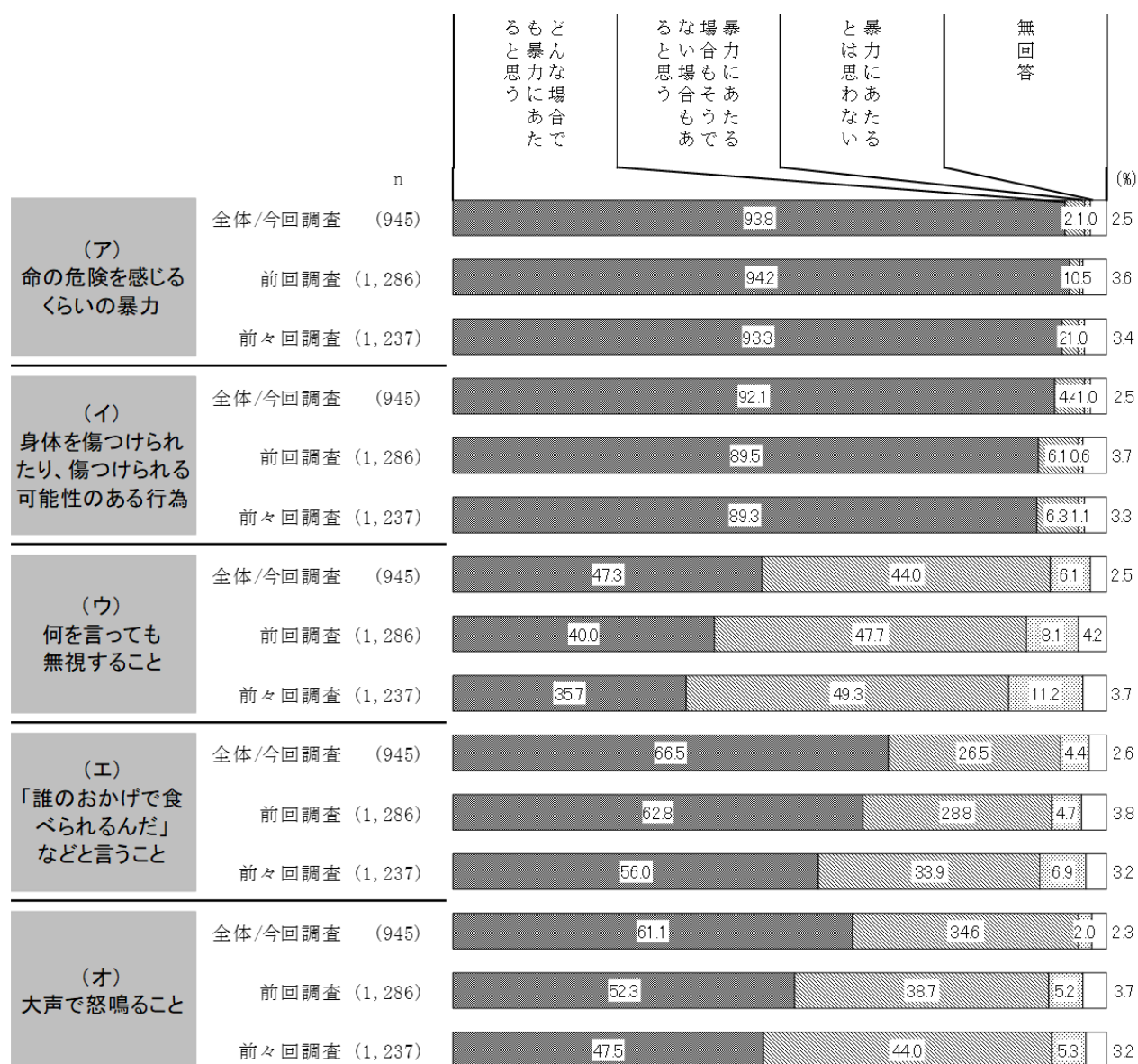
「(ア) 命の危険を感じるくらいの暴力」:「どんな場合でも暴力にあたると思う」93.8%（前回より-0.4ポイント）で最も高い

「(イ) 身体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為」:「どんな場合でも暴力にあたると思う」92.1%（前回より+2.6ポイント）で最も高い

「(ウ) 何を言っても無視すること」:「どんな場合でも暴力にあたると思う」47.3%（前回より+7.3ポイント）で最も高く、次いで「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」44%（前回より-3.7ポイント）

「(エ) 「誰のおかげで食べられるんだ」などと言うこと」:「どんな場合でも暴力にあたると思う」66.5%（前回より+3.7ポイント）で最も高い

「(オ) 大声で怒鳴ること」:「どんな場合でも暴力にあたると思う」61.1%（前回より+8.8ポイント）で最も高い



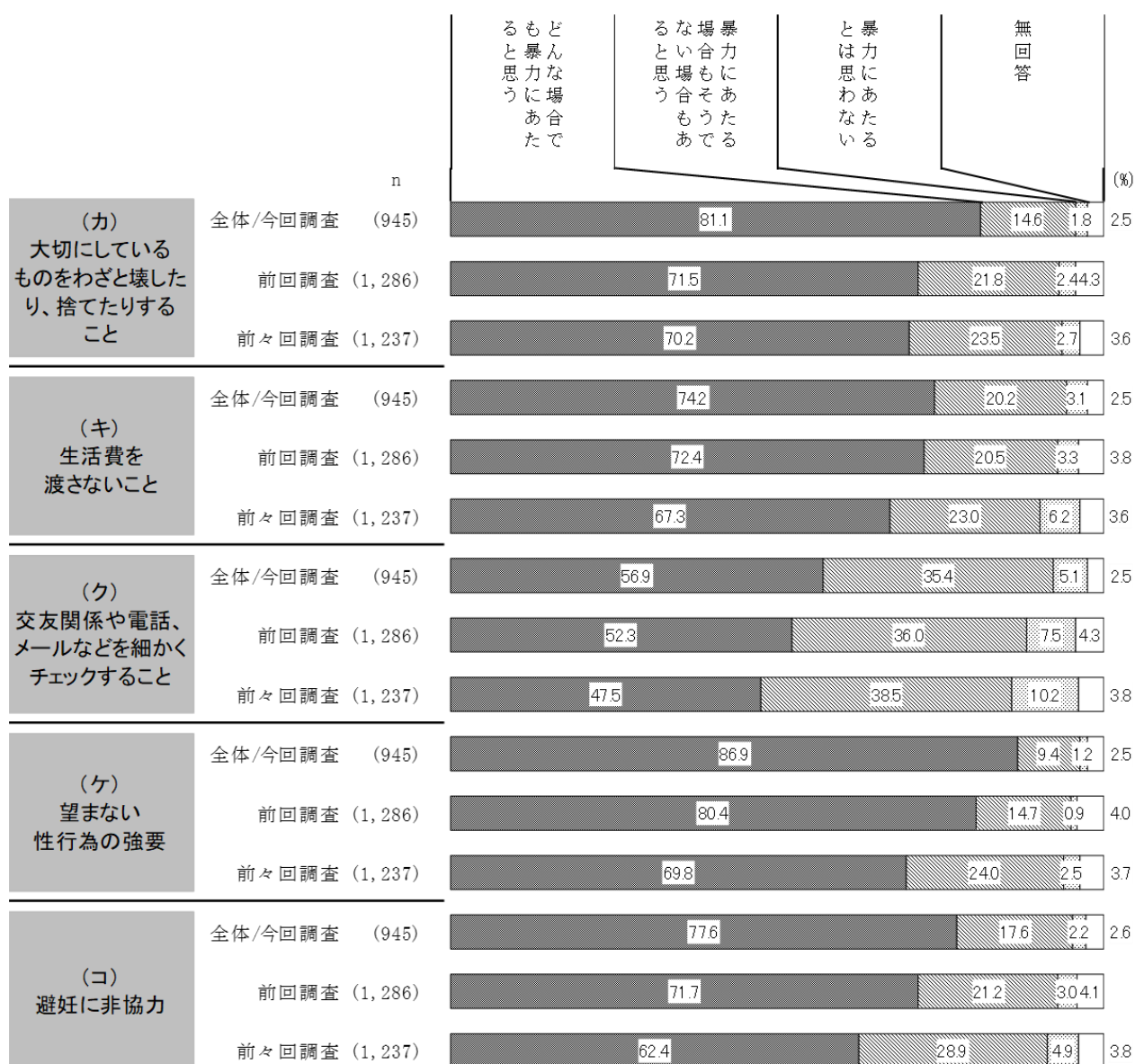
「(カ) 大切にしているものをわざと壊したり、捨てたりすること」:「どんな場合でも暴力にあたると思う」81.1% (前回より+9.6ポイント) で最も高い

「(キ) 生活費を渡さないこと」:「どんな場合でも暴力にあたると思う」74.2% (前回より+1.8ポイント) で最も高い

「(ク) 交友関係や電話、メールなどを細かくチェックすること」:「どんな場合でも暴力にあたると思う」56.9% (前回より+4.6ポイント) で最も高く、次いで「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」35.4% (前回より-0.6ポイント)

「(ケ) 望まない性行為の強要」:「どんな場合でも暴力にあたると思う」86.9% (前回より+6.5ポイント) で最も高い

「(コ) 避妊に非協力」:「どんな場合でも暴力にあたると思う」77.6% (前回より+5.9ポイント) で最も高い



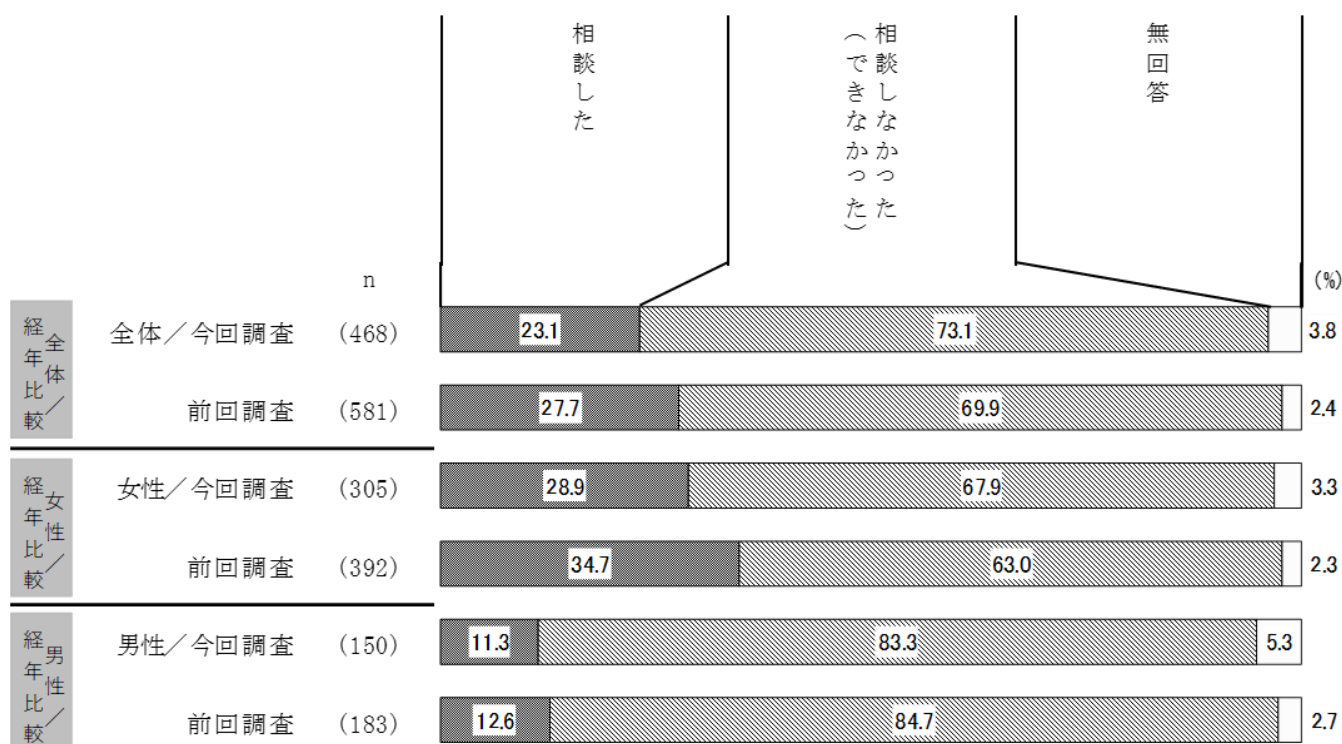
問 20 今までに配偶者（事実婚や別居、離別を含む）やパートナー・恋人などから次のような行為を受けたことはありますか。（ア）～（サ）のそれぞれについて、「1」～「3」のうちあてはまる番号に○をつけてください。

		調査数	思慮ど う暴力 にな る場 合に あ た る と も	場も暴 も、力 も、に あ る と あ た る 場 合 思 い う	思慮ど わに ない にあ た る と は	無 回 答	
身 体 的 暴 力	(ア) 命の危険を感じる くらいの暴力	全 体	945	93.8	2.8	1.0	2.5
		何度もあった	9	100.0	-	-	-
		1、2度あった	29	100.0	-	-	-
		まったくない	875	95.2	3.0	1.0	0.8
	(イ) 身体を傷つけられ たり、傷つけられる可能 性のある行為	全 体	945	92.1	4.4	1.0	2.5
		何度もあった	19	89.5	10.5	-	-
1、2度あった		65	90.8	7.7	1.5	-	
	まったくない	831	94.2	3.9	1.0	1.0	
精 神 的 暴 力	(ウ) 何を言っても無視 すること	全 体	945	47.3	44.0	6.1	2.5
		何度もあった	54	61.1	31.5	7.4	-
		1、2度あった	193	40.4	53.9	5.2	0.5
		まったくない	665	49.0	43.3	6.5	1.2
	(エ) 「誰のおかげで食 べられるんだ」などと言 うこと	全 体	945	66.5	26.5	4.4	2.6
		何度もあった	30	80.0	16.7	3.3	-
		1、2度あった	85	65.9	30.6	3.5	-
		まったくない	799	67.2	27.0	4.6	1.1
	(オ) 大声で怒鳴ること	全 体	945	61.1	34.6	2.0	2.3
		何度もあった	104	75.0	22.1	1.9	1.0
		1、2度あった	226	53.1	43.4	3.1	0.4
		まったくない	586	63.0	34.3	1.7	1.0
	(カ) 大切にしているも のをわざと壊したり、捨 てたりすること	全 体	945	81.1	14.6	1.8	2.5
		何度もあった	19	89.5	10.5	-	-
		1、2度あった	77	76.6	20.8	1.3	1.3
		まったくない	819	82.8	14.4	2.0	0.9
	(ク) 交友関係や電話、 メールなどを細かく チェックすること	全 体	945	56.9	35.4	5.1	2.5
		何度もあった	26	65.4	30.8	3.8	-
1、2度あった		80	46.3	52.5	1.3	-	
まったくない		808	58.9	34.4	5.7	1.0	
経 済 的 暴 力	(キ) 生活費を渡さない こと	全 体	945	74.2	20.2	3.1	2.5
		何度もあった	34	85.3	11.8	2.9	-
		1、2度あった	37	81.1	18.9	-	-
		まったくない	839	75.2	20.6	3.3	0.8
性 的 暴 力	(ケ) 望まない性行為の 強要	全 体	945	86.9	9.4	1.2	2.5
		何度もあった	29	93.1	6.9	-	-
		1、2度あった	70	90.0	10.0	-	-
		まったくない	812	88.4	9.5	1.4	0.7
	(コ) 避妊に非協力	全 体	945	77.6	17.6	2.2	2.6
		何度もあった	18	88.9	5.6	5.6	-
		1、2度あった	50	82.0	16.0	2.0	-
		まったくない	839	78.9	18.1	2.1	0.8

1 番目に高い

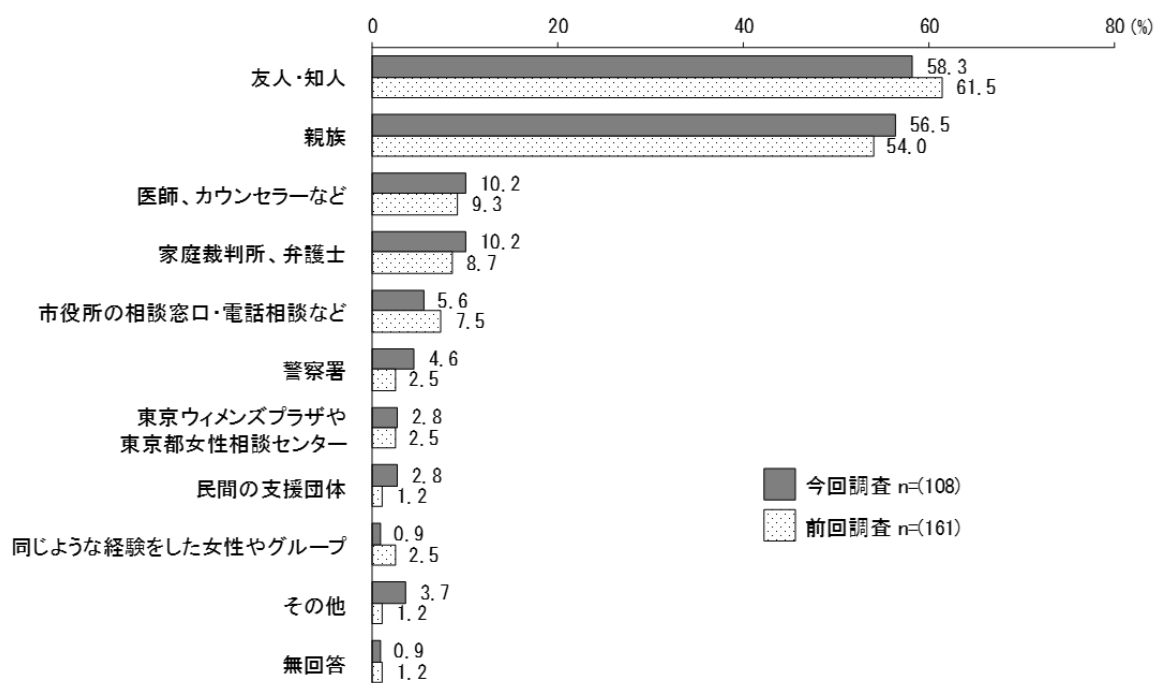
問 20-1 これまでに相手から受けた行為について誰かに伝えたり、相談したりしましたか。

「相談しなかった（できなかった）」73.1%（前回より+3.2ポイント）が最も高い



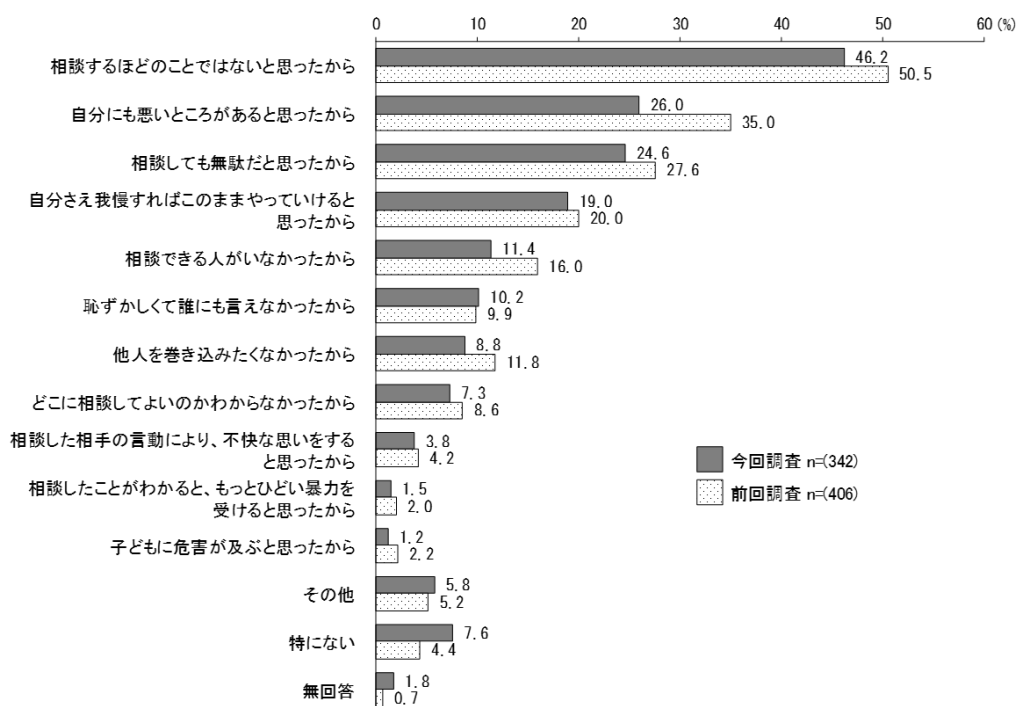
問 20-1-1 誰（どこ）に相談しましたか。

「友人・知人」58.3%（前回より-3.2ポイント）が最も高く、次いで「親族」56.5%（前回より+2.5ポイント）



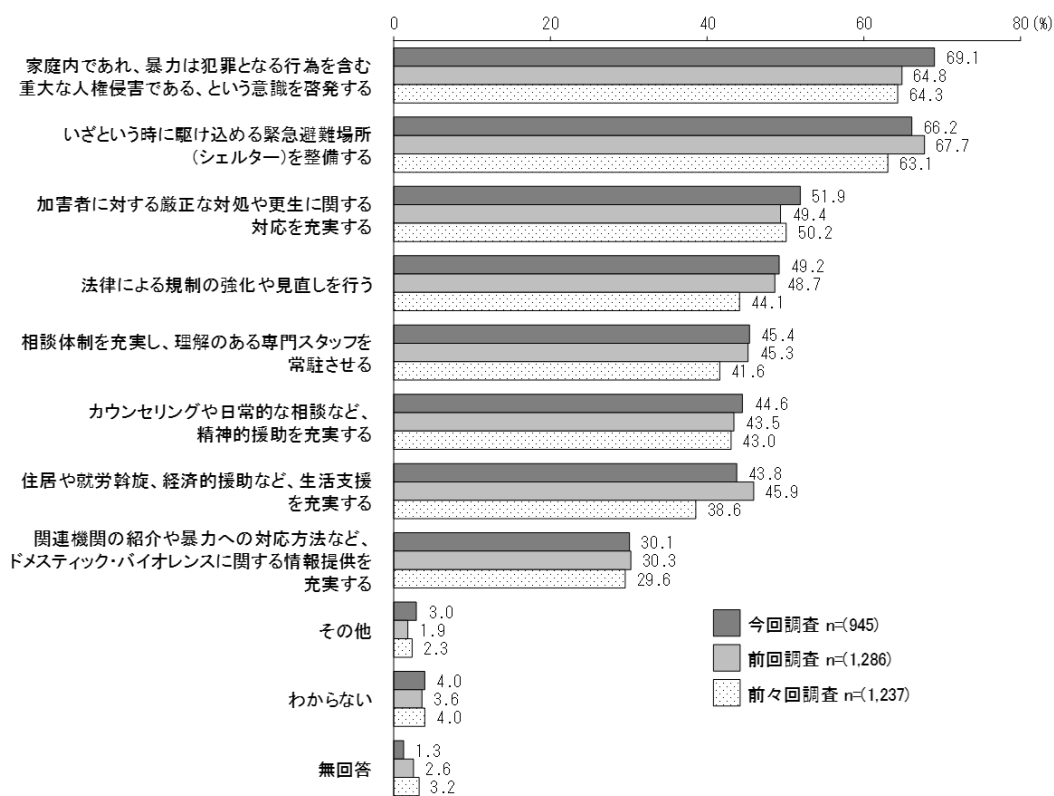
問 20-1-2 誰（どこ）にも相談しなかった（できなかった）理由は何ですか。

「相談するほどのことではないと思ったから」46.2%（前回より－4.3ポイント）が最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」26.0%（前回より－9.0ポイント）



問 21 「ドメスティック・バイオレンス（DV）（※）」に対する対策や援助として、特にどのようなものを充実すべきだと思いますか。

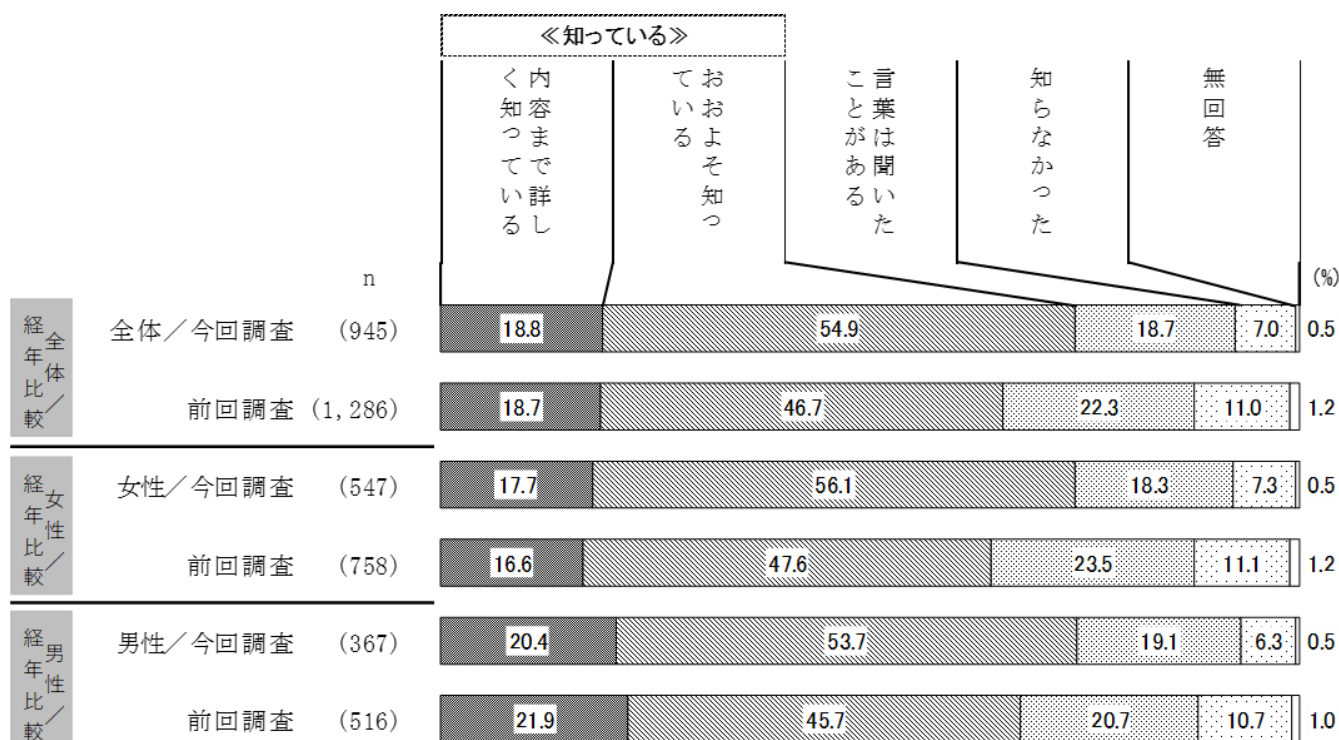
「家庭内であれ、暴力は犯罪となる行為を含む重大な人権侵害である、という意識を啓発する」69.1%（前回より＋4.3ポイント）が最も高く、次いで「いざという時に駆け込める緊急避難所（シェルター）を整備する」66.2%（前回より－1.5ポイント）



性の多様性について

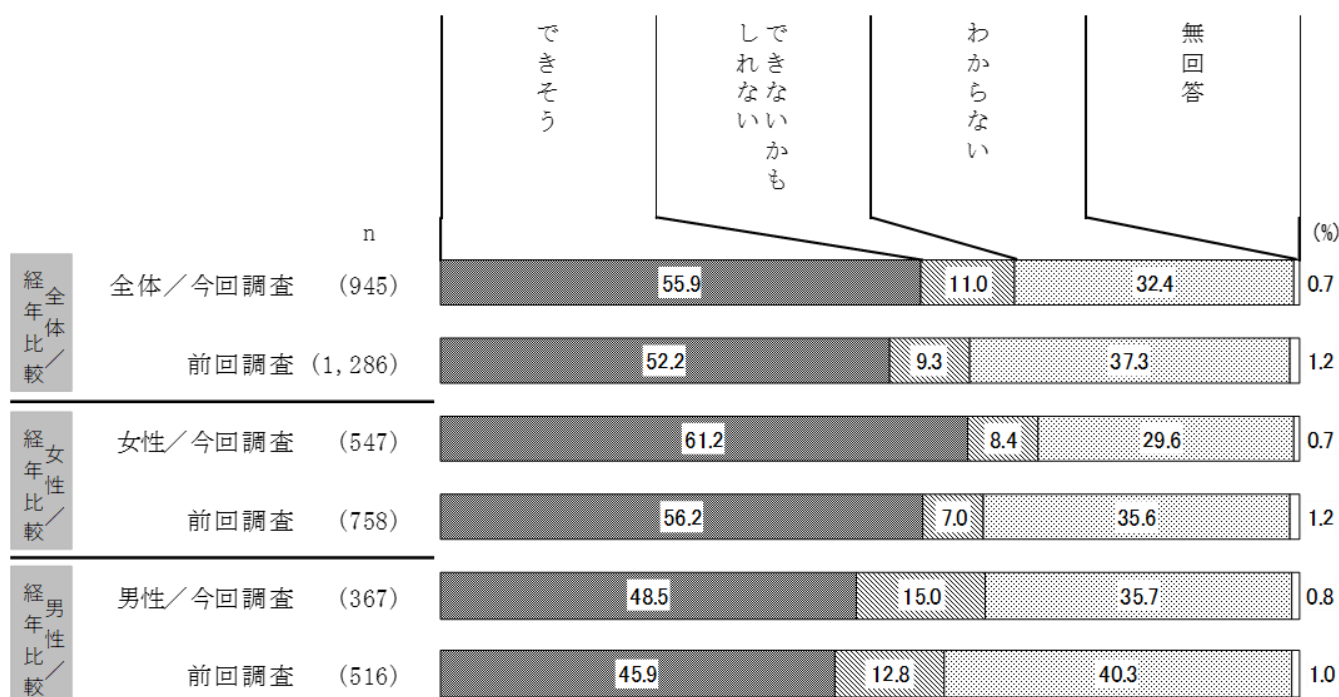
問 22 性的マイノリティ（性的少数者）という言葉を知っていますか。

「知っている」73.7%（前回より+8.3ポイント）が最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」18.7%（前回より-3.6ポイント）



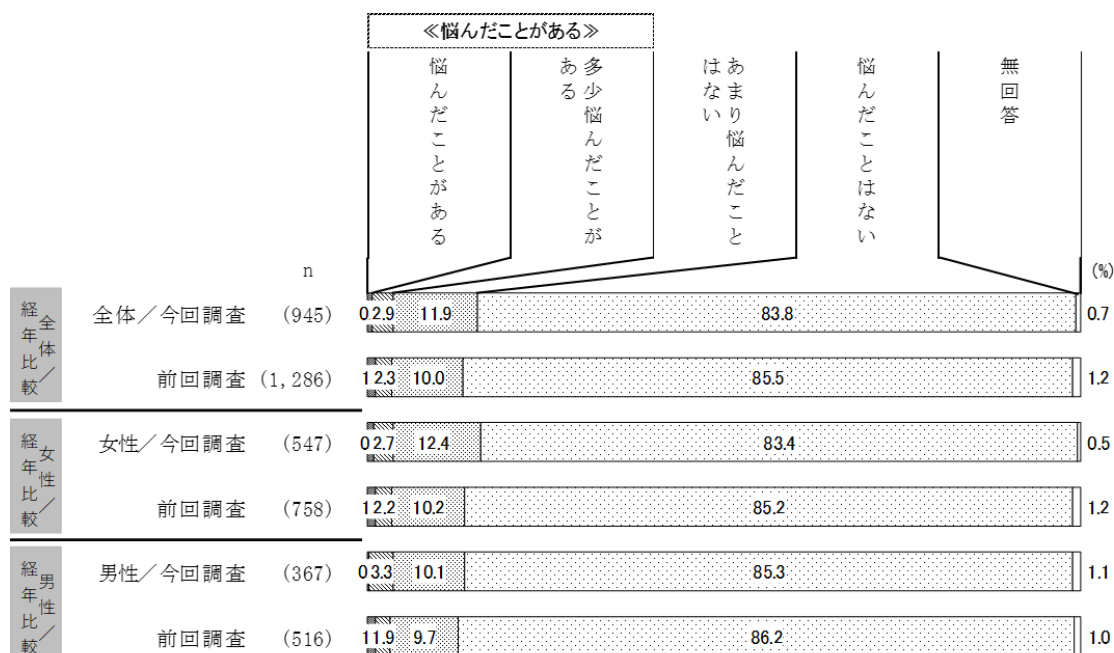
問 23 身近な人から同性愛者やトランスジェンダーなどであると打ち明けられた場合、これまでと変わりなく接することができそうですか。

「できそう」が55.9%で前回から3.7ポイント増えたが、「できないかもしれない」「わからない」が43.4%となっている。



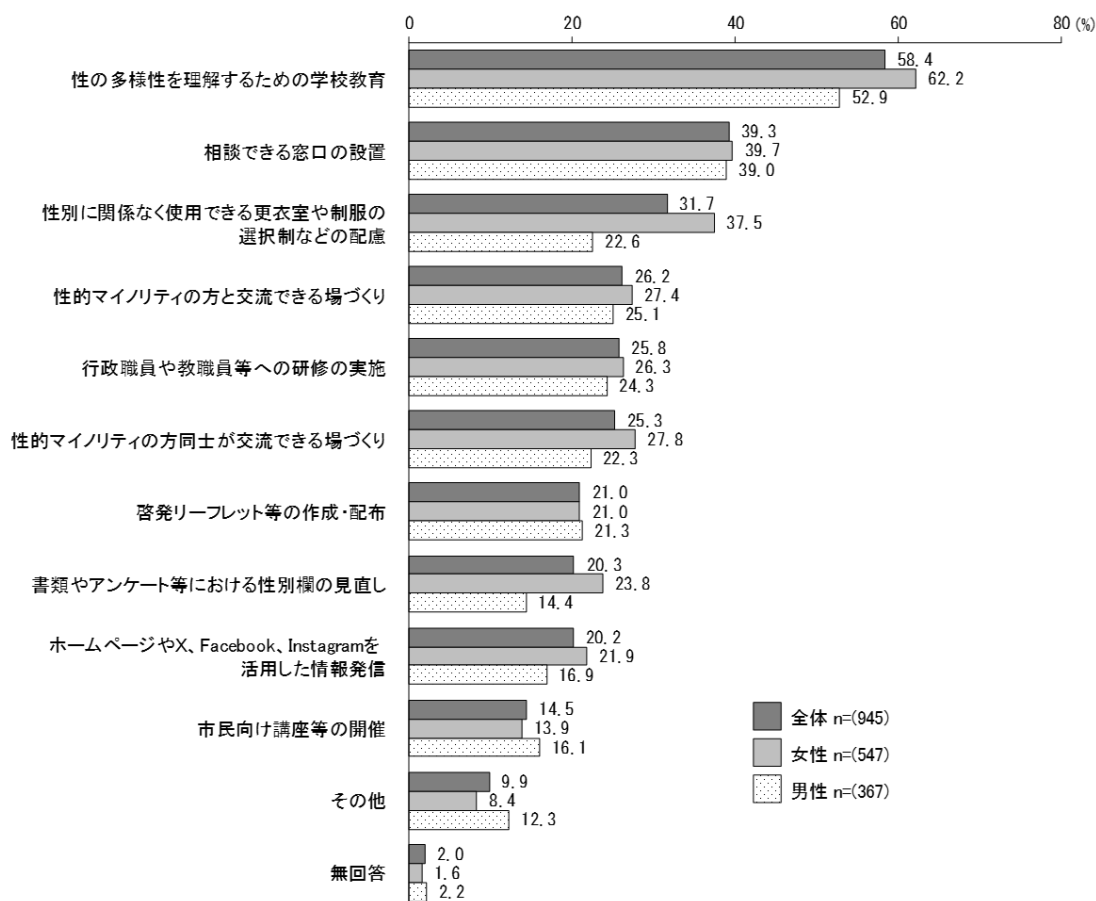
問 24 今まで自分の性別や恋愛対象となる性別などについて悩んだことはありますか。

「悩んだことはない」が 83.8%（前回より－1.7 ポイント）で最も高い。＜悩んだことがある＞は、わずかに増加した。



問 25 性的マイノリティの人々に対する偏見がなくなり、社会で生活しやすくするためには、何が必要だと思いますか。

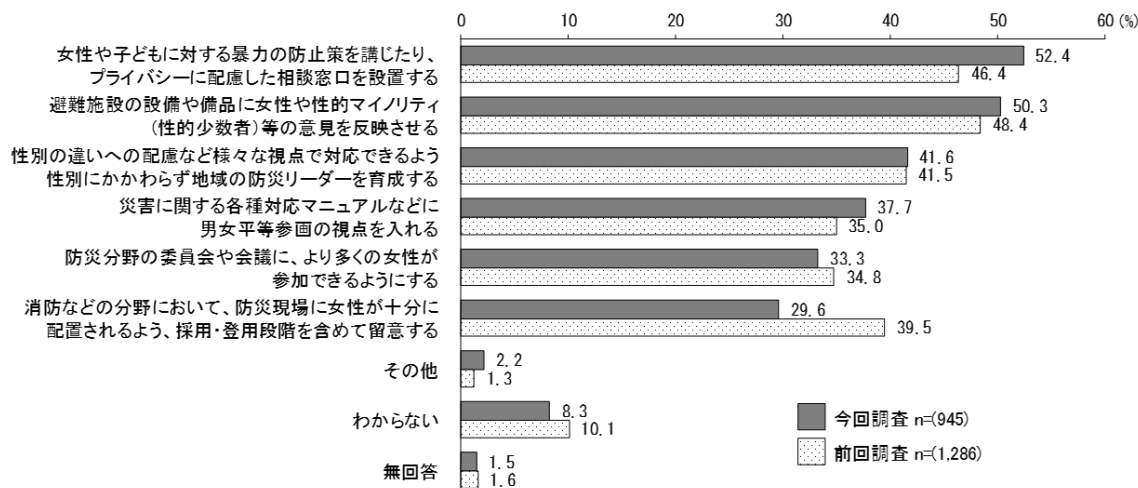
「性の多様性を理解するための学校教育」が 58.4%（前回より－3.8%）と最も高く、次いで「相談できる窓口の設置」が 39.3%（前回より－0.4 ポイント）、「性別に関係なく使用できる更衣室や制服の選択制などの配慮」（31.7%）（前回より－5.8 ポイント）となっている。



## 防災対応について

問 26 災害時に備えた男女双方の視点を取り入れた防災対応として、どのようなことが重要だと思いますか。

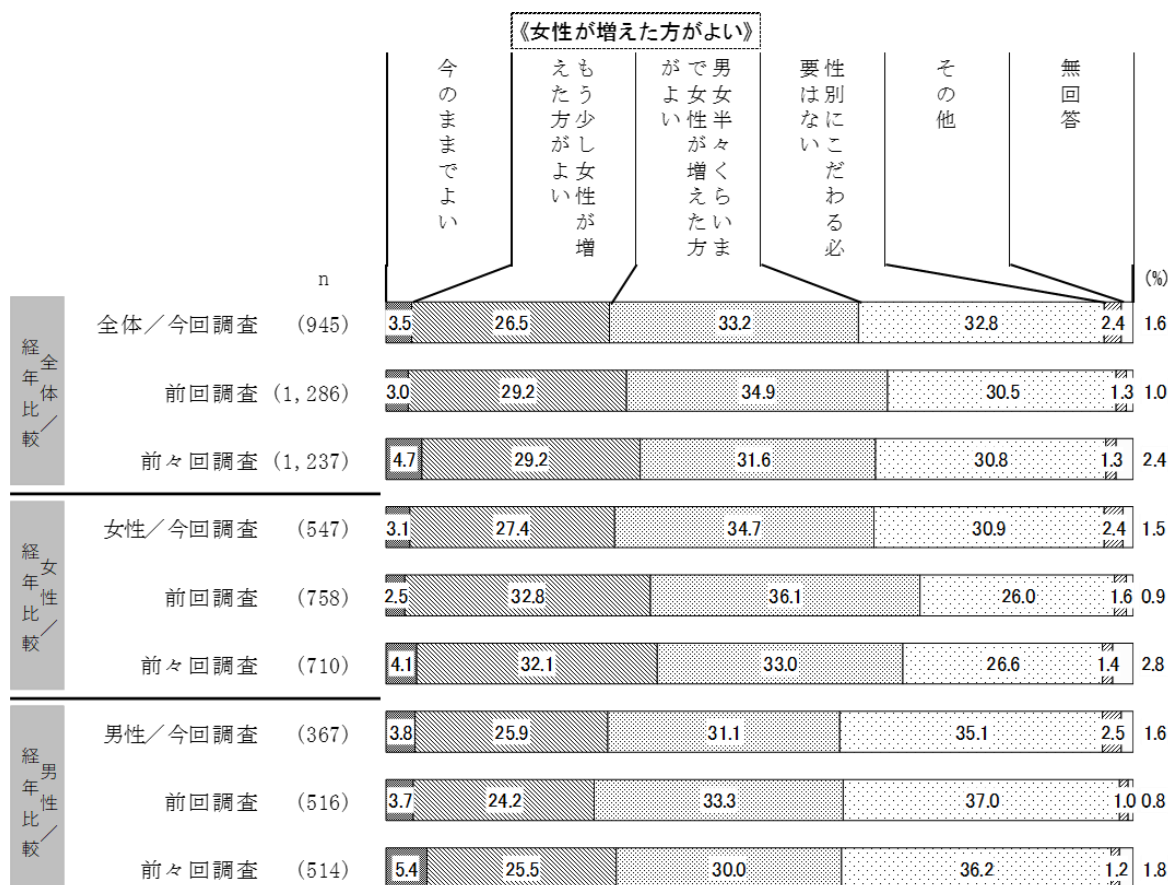
「女性や子供に対する暴力の防止策を講じたり、プライバシーに配慮した相談窓口を設置する」が52.4%（前回より+6.0ポイント）で最も高く、次いで、「避難施設の設備や備品に女性や性的マイノリティ（性的少数者）等の意見を反映させる」50.3%（前回より+1.9ポイント）となっている。



## 女性活躍推進について

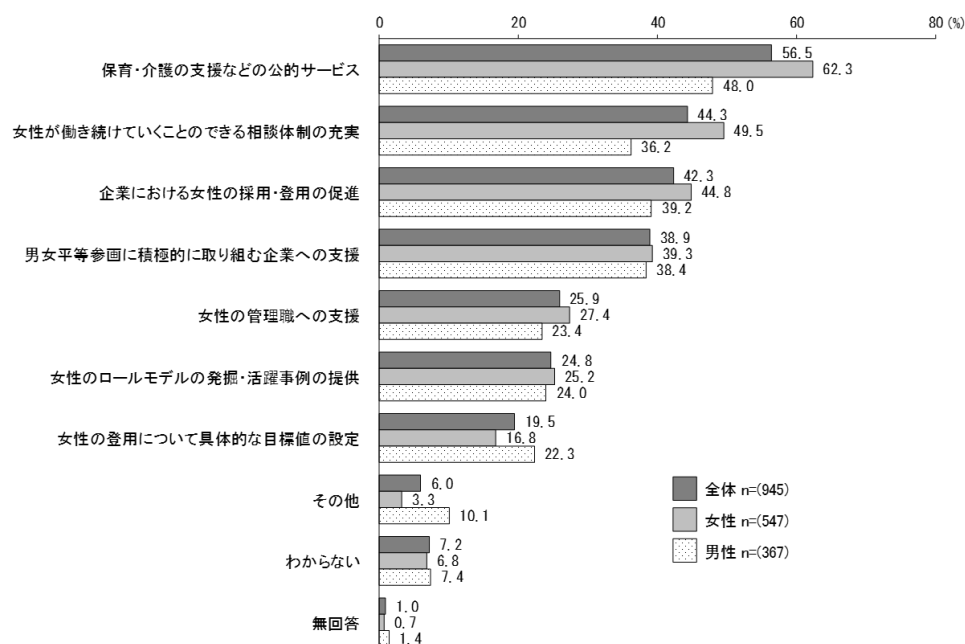
問 27 まちづくりや福祉など、市のこれからの政策や方針を決定する場の一つに審議会があります。町田市で設けている審議会などの女性委員の比率は30.7%です（2025年4月1日現在）。このことについて、あなたはどのように思いますか。

経年では「女性が増えたほうがよい」が前々回から前回にかけては大きな変化がみられないが、前回から今回にかけては減少している。



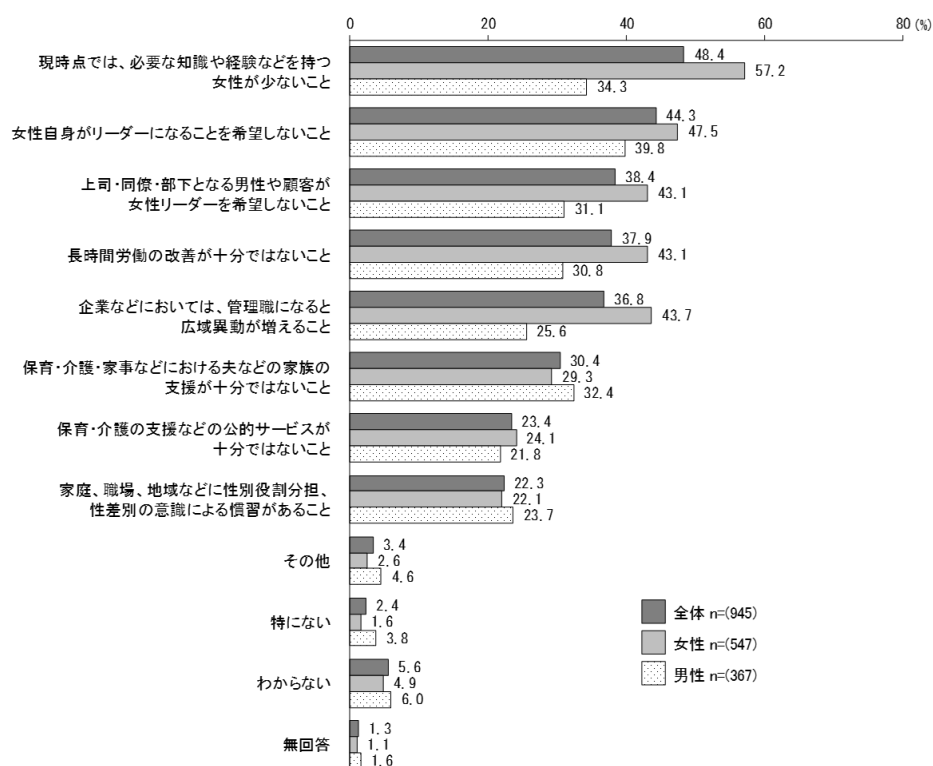
問 28 働く場における女性の管理職への登用など、女性の参画を促すには、どのような支援が必要だと思いますか。

「保育・介護の支援などの公的サービス」が 56.5%（前回より－5.8 ポイント）で最も高く、次いで「女性が働き続けていくことのできる相談体制の充実」が 44.3%（前回より－5.2 ポイント）、「企業における女性の採用・登用の促進」が 42.3%（前回より－2.5 ポイント）となっている。



問 29 政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。

「現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと」が 48.4%（前回より－8.8 ポイント）で最も高く、次いで「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」が 44.3%（前回より－3.2 ポイント）、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」が 38.4%（前回より－4.7 ポイント）となっている。



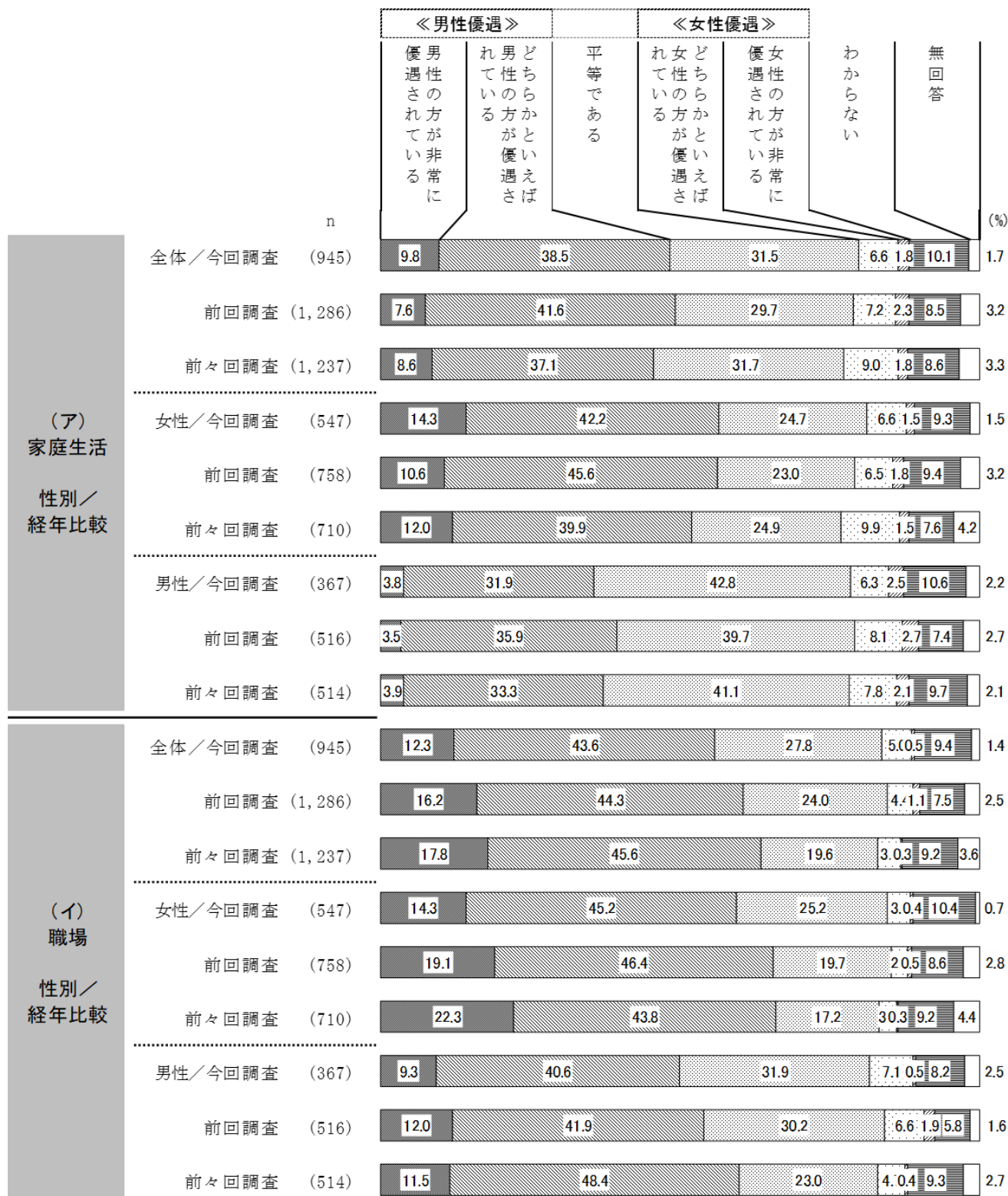
男女平等について

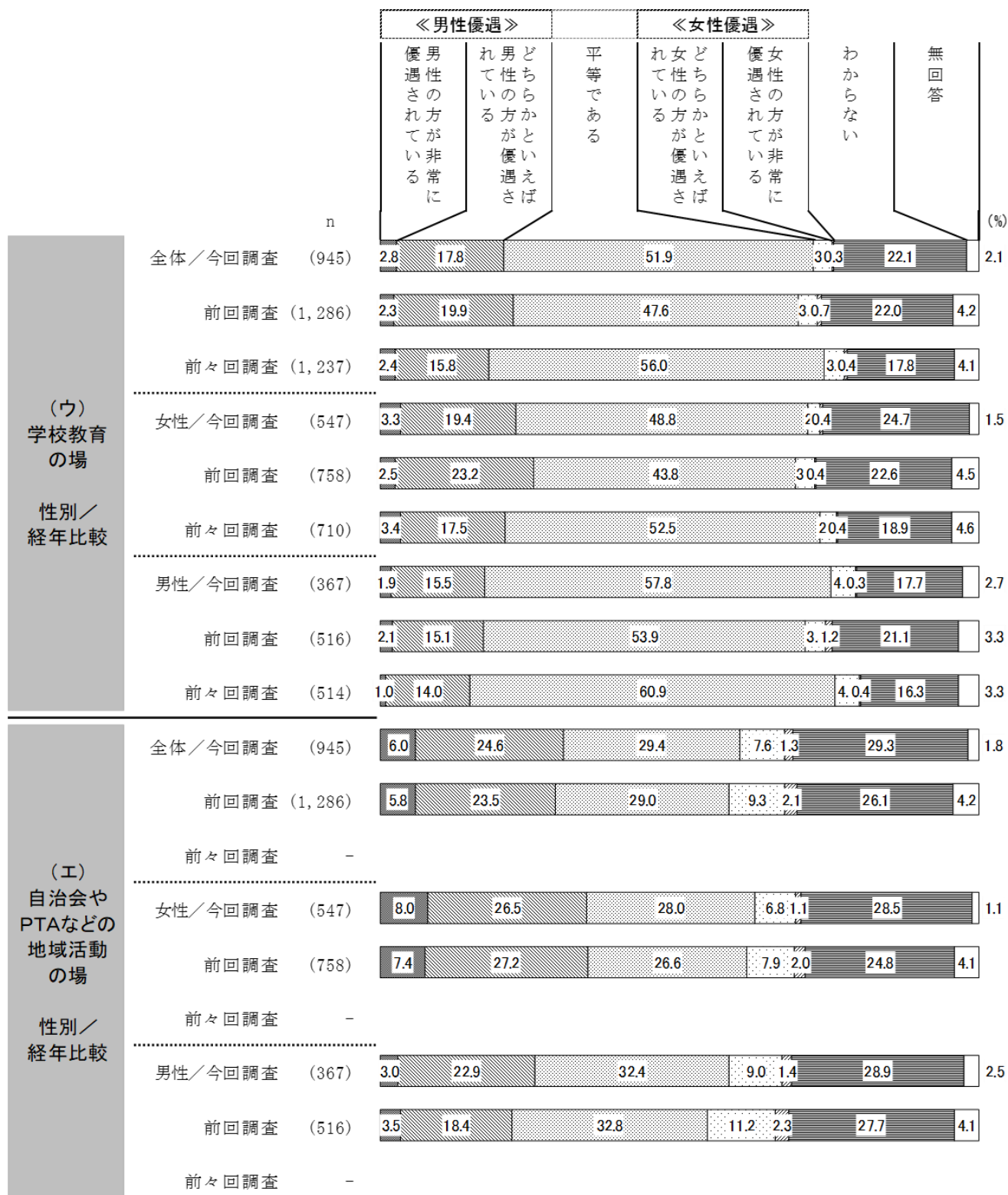
問 30 次にあげる分野において女性と男性が平等になっていると思いますか。

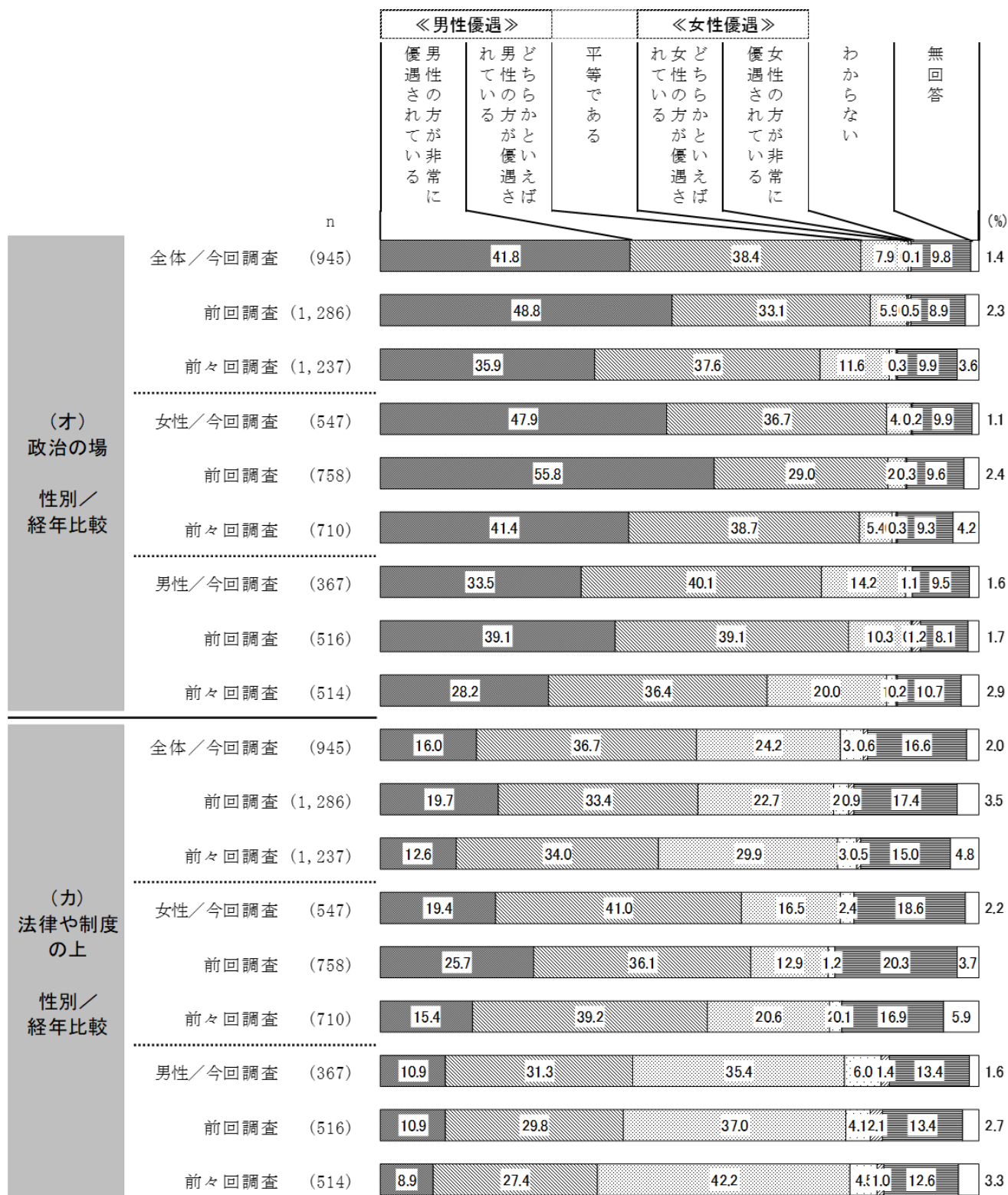
(ア)～(ク)のそれぞれについて、あなたの感じ方に近いものをお選びください。

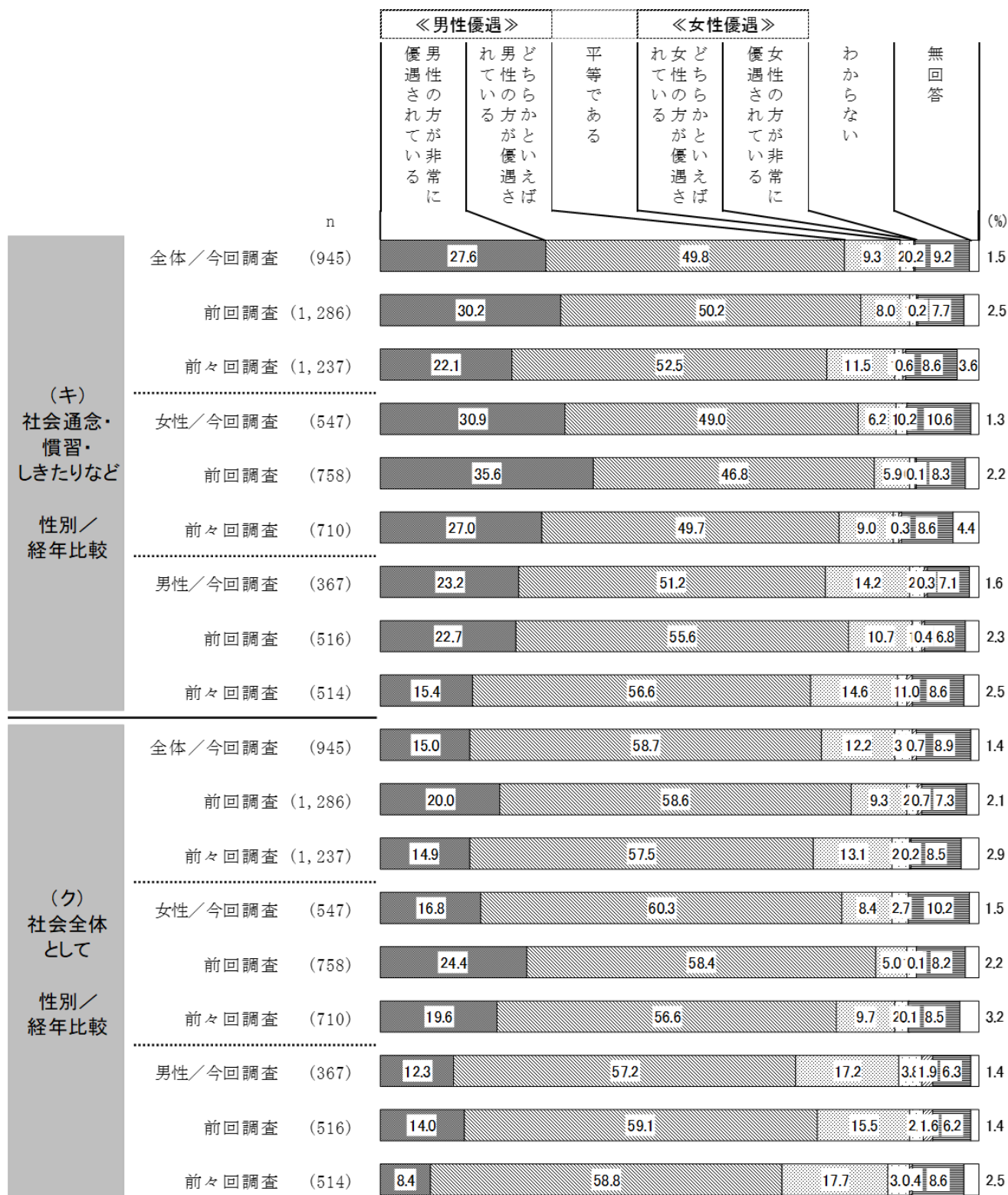
性別でみると、家庭生活においては女性では男性優遇（56.5%）が約 6 割、男性では男性優遇（35.7%）が約 4 割となっている。

職場においては女性では男性優遇（59.5%）が約 6 割、男性では男性優遇（49.9%）が約 5 割となっている。



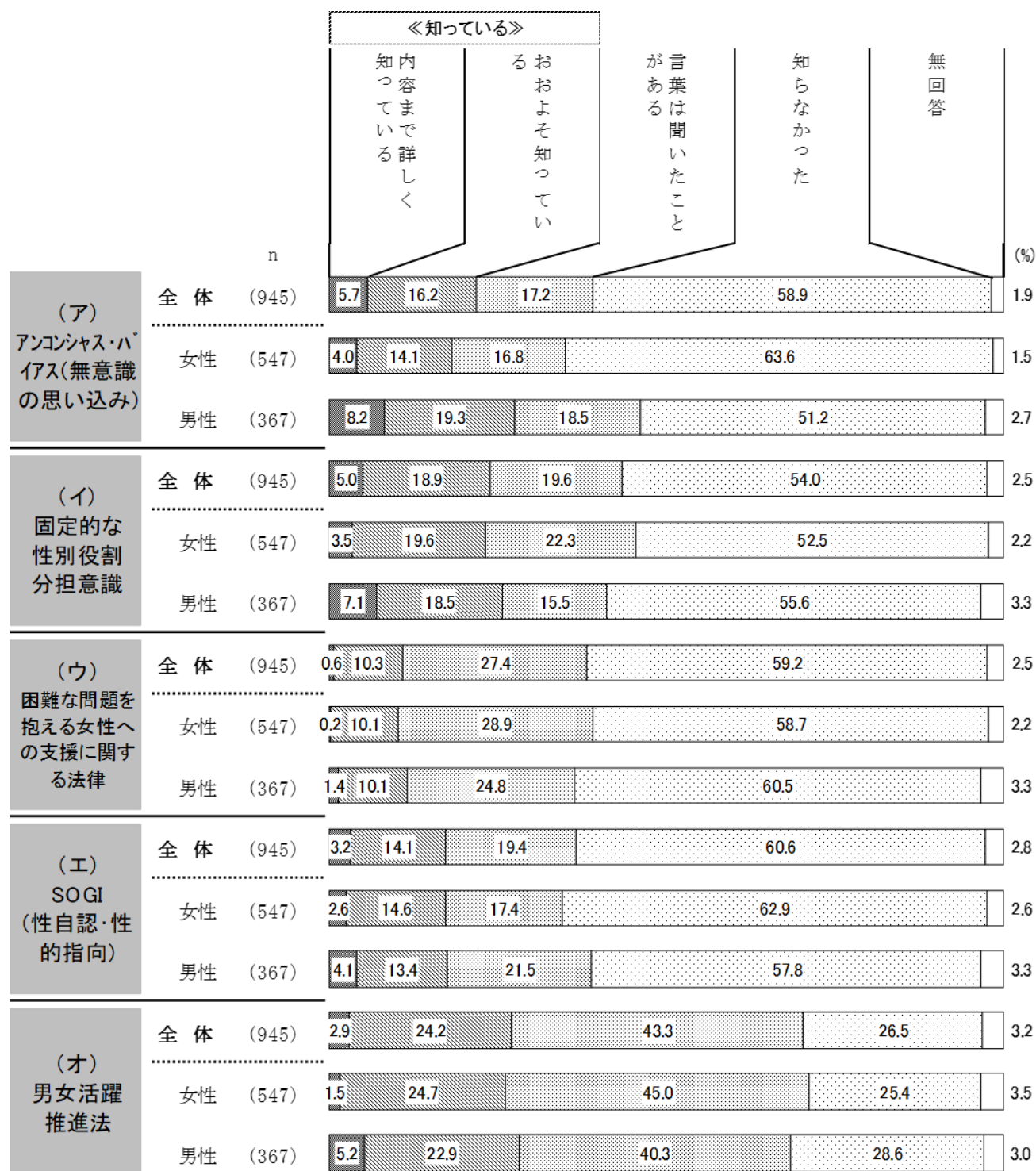


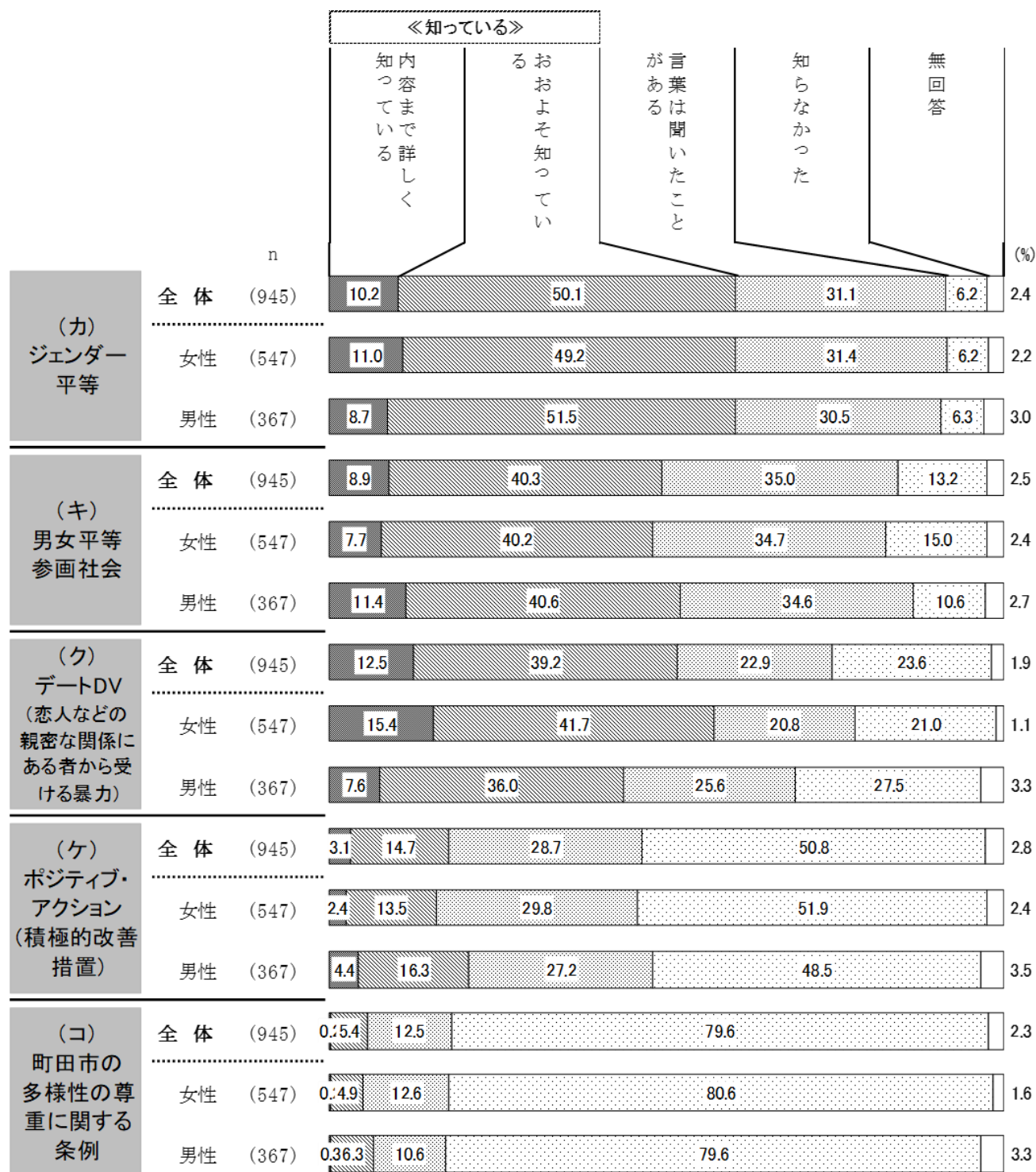


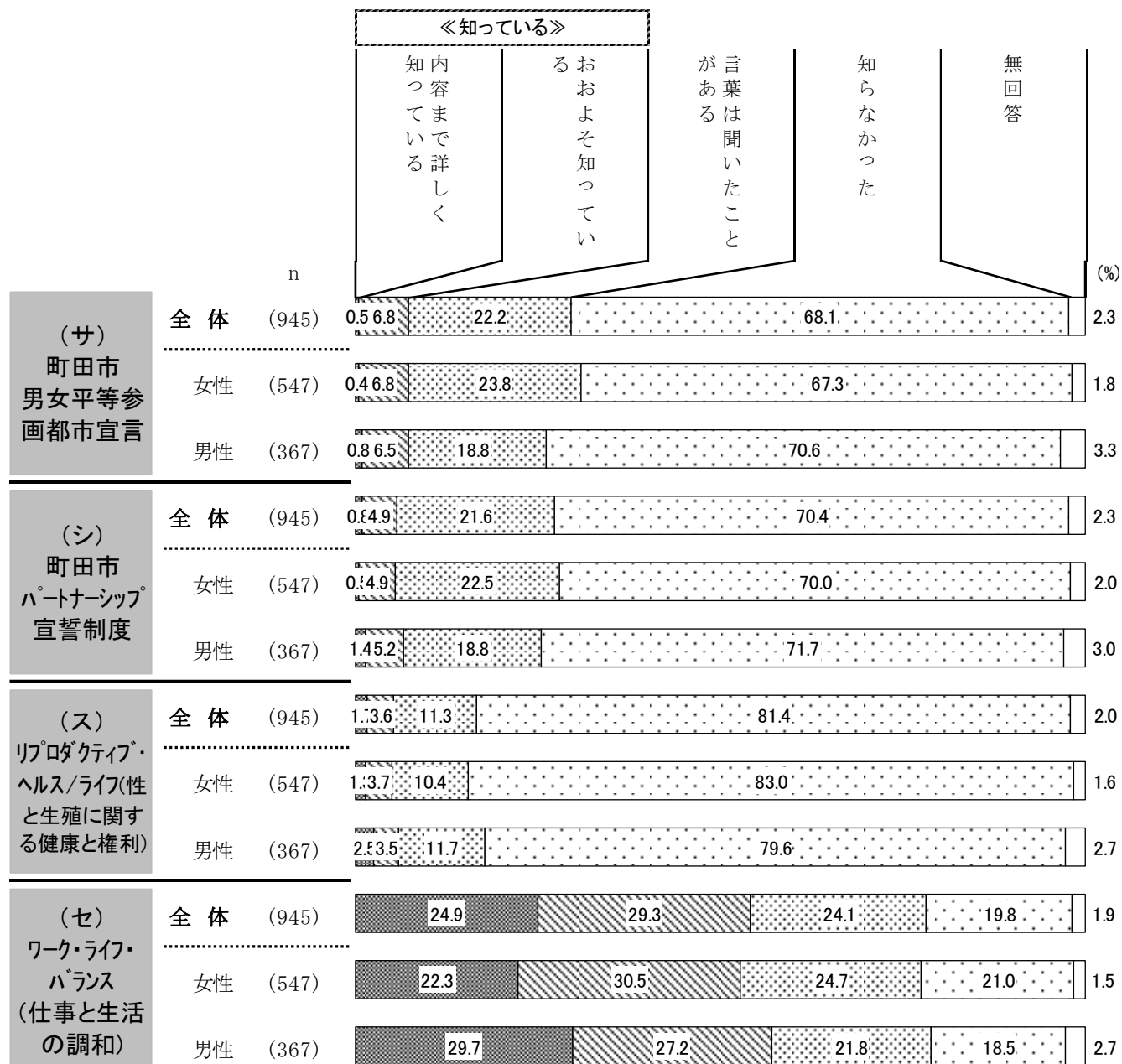


問 31 次の法律や言葉を知っていますか。(ア)～(セ)のそれぞれについて、1～4のうちあてはまる番号に○をつけてください。

「内容まで詳しく知っている」「おおよそ知っている」を合わせた<知っている>が、ジェンダー平等(60.3%)と6割となっている。

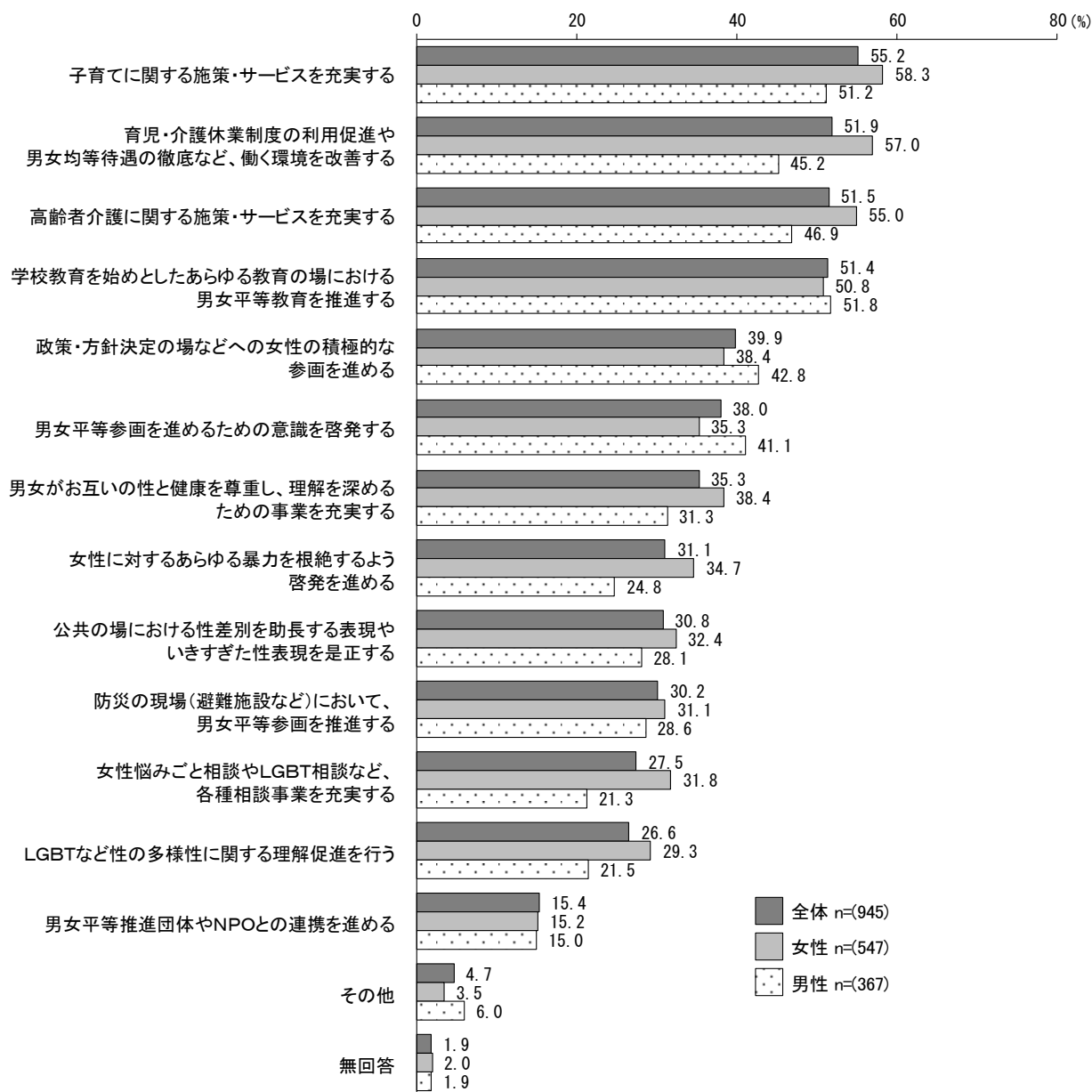






問 32 男女平等参画社会を実現していくために、今後、町田市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。

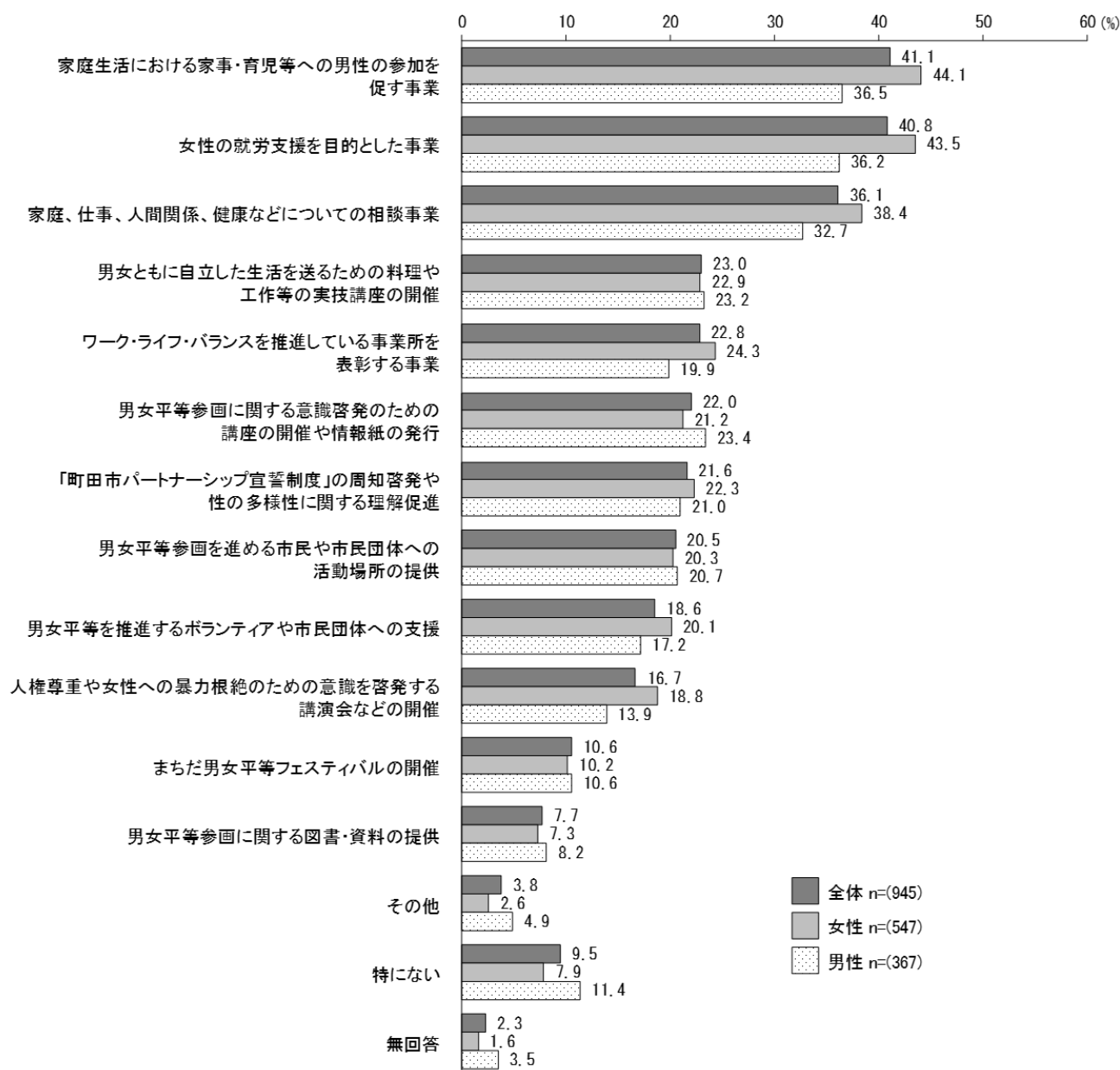
「子育てに関する施策・サービスを充実する」が55.2%（前回より－3.1ポイント）で最も多く、次いで、「育児・介護休業制度の利用促進や男女均等待遇の徹底など、働く環境を改善する」が51.9%（前回より－5.1ポイント）、「高齢者介護に関する施策・サービスを充実する」が51.5%（前回より－3.5ポイント）となっている。



## 町田市男女平等推進センターについて

問 33 町田市では、町田市男女平等推進センター（※）を中心に以下のような事業展開をしています。この中で、今後特に重点的に行うべきだと思う事業はどれでしょうか。

[家庭生活における家事・育児等への男性の参加を促す事業]が41.1%（前回より－3.0ポイント）で最も多く、次いで、「女性の就労支援を目的とした事業」が40.8%（前回より－2.7ポイント）、「家庭、仕事、人間関係、健康などについての相談事業」が36.1%（前回より－2.3ポイント）となっている。



問 34 町田市男女平等推進センターの事業（問 33）を 1 つでも知っていましたか。

「知らない」が 81.3%、「知っていた」が 17.2%

